

直轄工事における総合評価落札方式の実施状況 【平成28年度】



国土交通省 国土技術政策総合研究所

~National Institute for Land and Infrastructure Management
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism~

平成17年に施行された「公共工事の品質確保の促進に関する法律」を受けて総合評価落札方式の導入を推進した結果、国土交通省の直轄工事では平成19年度以降ほぼすべての工事において総合評価落札方式を適用することにより、品質確保を図ってきた。適用の拡大を進める一方、受発注者の負担増大等の課題を解消するため、直轄工事では平成25年度から、施工能力の評価と技術提案の評価に二極化する改善策を講じ、定着している。

1. 総合評価落札方式の適用状況

- 平成28年度の総合評価落札方式の適用率は件数ベースで99.5%であり、平成19年度以降ほぼ全ての工事に適用(p1)
- 平成25年度以降減少傾向にあった発注件数・発注金額は、平成28年度増加に転じている(p1-2)

2. 競争参加の状況

- 契約タイプ別は、これまでと同様に施工能力評価型の適用がほぼ全ての工事種別で9割を越えている中、昨年度と同様に鋼橋上部とプレストレスト・コンクリートは技術提案評価型の適用が比較的多い特徴を示している(p3)
- 競争参加者数は、WTO技術提案評価型(S型)において他の契約タイプより多いが、平成22年度をピークに減少傾向となり昨年度一時的に増加したものの平成28年度は再び減少(p5)

3. 入札の状況

- 平成28年度は、調査基準価格の引き上げや発注量(件数・金額)の増加等があり前年度より落札率が上昇している(p7)

4. 技術評価点の状況

- WTO技術提案評価型(S型)では、技術評価点1位と2位の得点率の差が平成19年度以降減少に転じ他の契約タイプと比べて差が少ない状況が続いている(p13)

5. 落札者の特徴

- 落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合は経年で増加傾向(p21)にあるが、最高得点者でありながら調査基準価格付近(落札率<調査基準価格率+0.5%)で入札する割合は、近年増加している(p26)

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

- 総合評価落札方式の導入以後、工事成績は経年で増加し、より上位の契約タイプほど高い評定を得ている(p34-35)
- 入札時の技術評価点が高い者が落札した工事ほど、完成時の工事成績が高い傾向が見られる(p36)

1. 総合評価落札方式の適用状況	1
2. 競争参加の状況	5
3. 入札の状況	7
4. 技術評価の状況	13
5. 落札者の特徴	21
6. 総合評価の導入と工事成績評定点	34

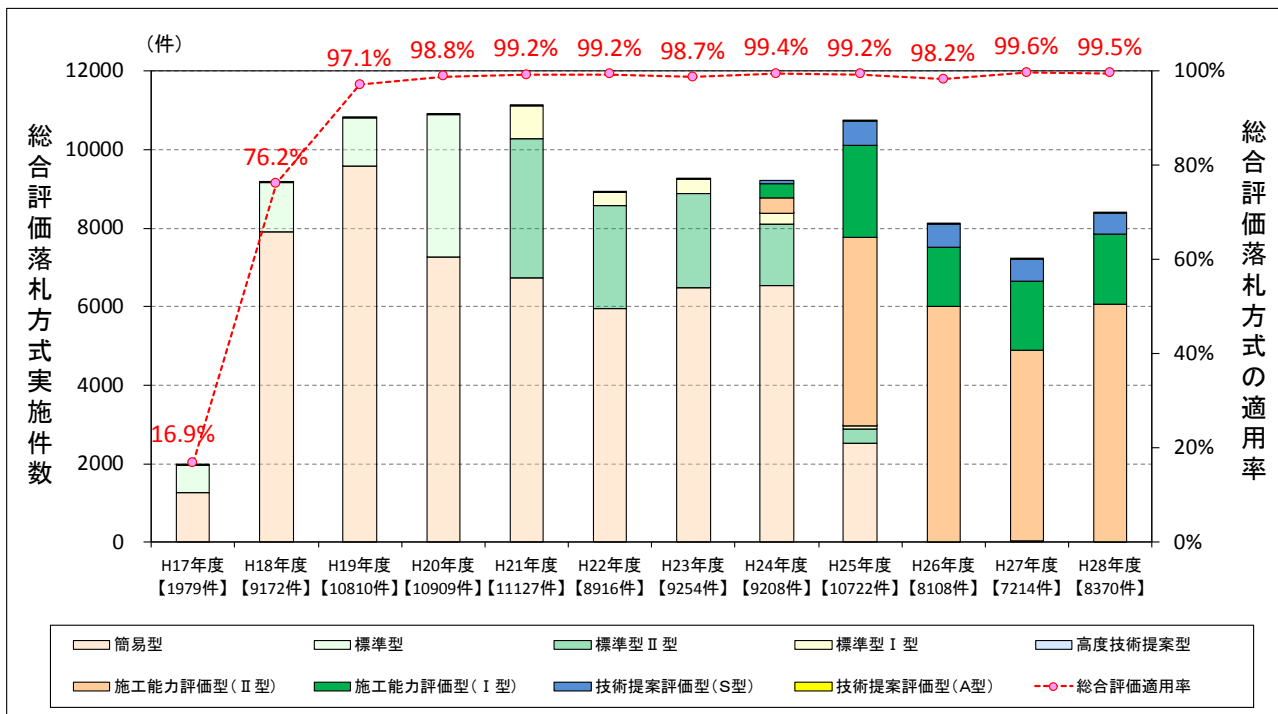
1. 総合評価落札方式の適用状況

(1) 経年変化等の状況

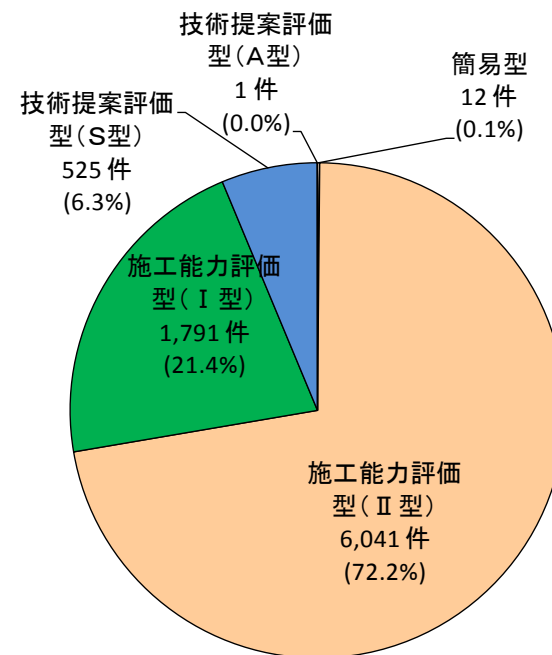
① 実施件数

- 平成28年度において、総合評価落札方式の適用率は件数ベースで99.5%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- 平成28年度において、契約タイプ別で最も多いのは施工能力評価型(Ⅱ型)の6,041件(総合評価落札方式適用工事全体に占める割合72.2%)である。

〔実施件数(平成17年度～平成28年度)〕



〔件数シェア(平成28年度)〕



注1) 8地方整備局の工事を対象(港湾・空港関係工事を含む)。

注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事件数に対する総合評価落札方式実施件数の割合。

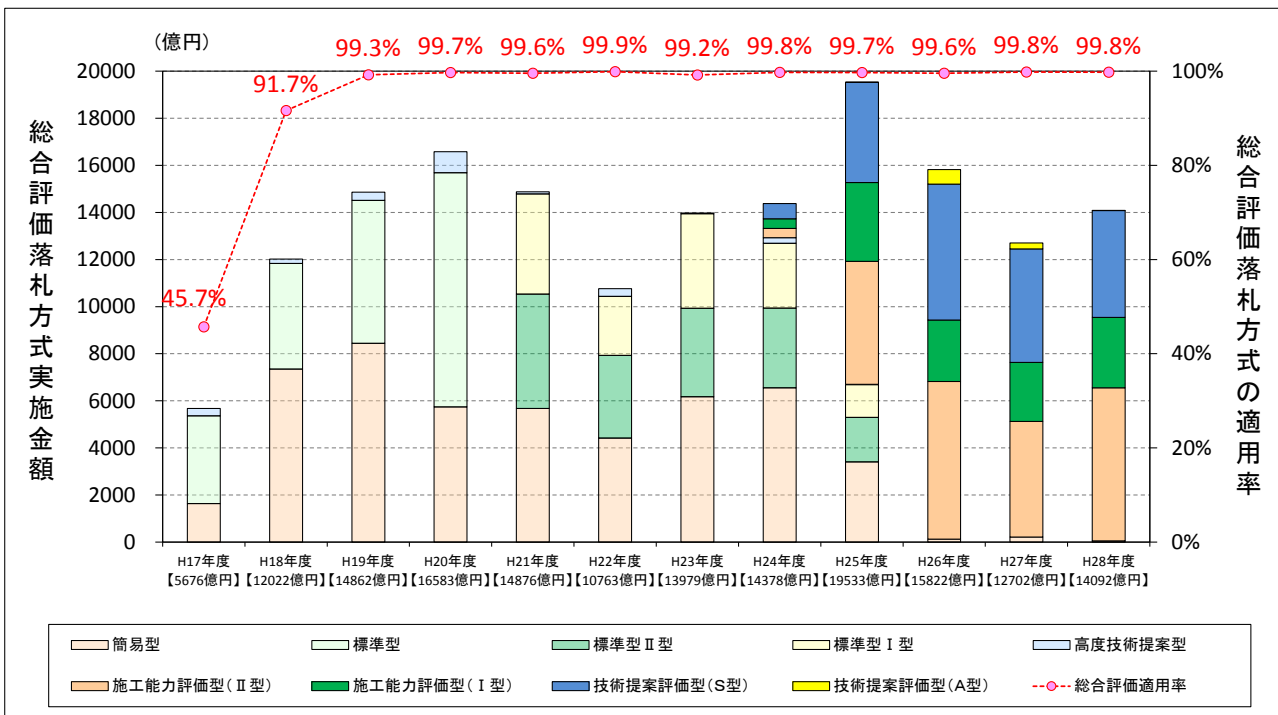
注3) 上記の他、平成28年度には技術提案・交渉方式による手続きを経た4件の工事の契約を締結。

1. 総合評価落札方式の適用状況

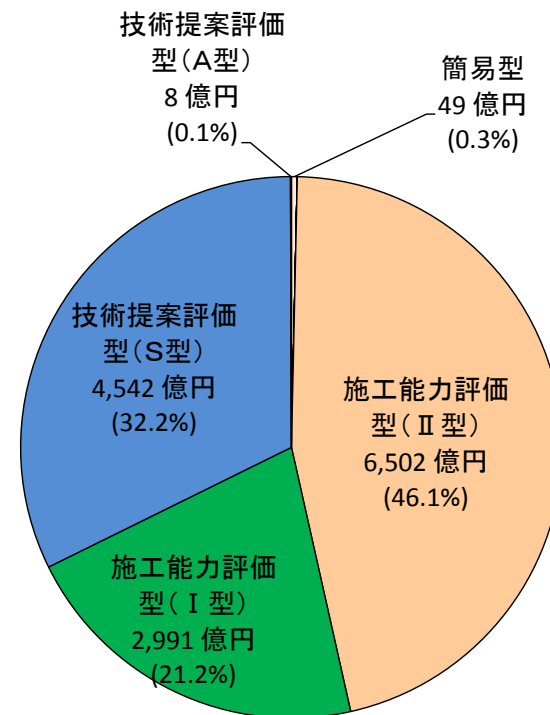
②実施金額（契約額）

- 平成28年度において、総合評価落札方式の適用率は金額ベースで99.8%となり、ほぼ100%の適用状況となっている。
- 平成28年度において、契約タイプ別で最も多いのは施工能力評価型（Ⅱ型）の6,502億円（総合評価落札方式適用工事全体に占める割合46.1%）である。

〔実施金額(平成17年度～平成28年度)〕



〔金額シェア(平成28年度)〕



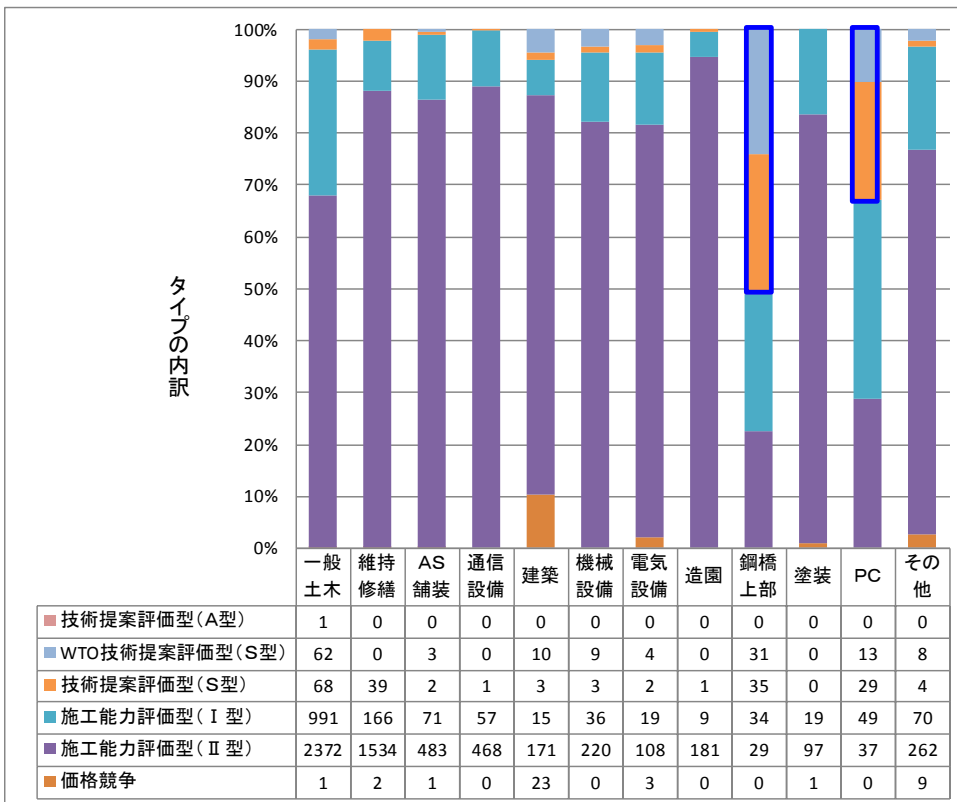
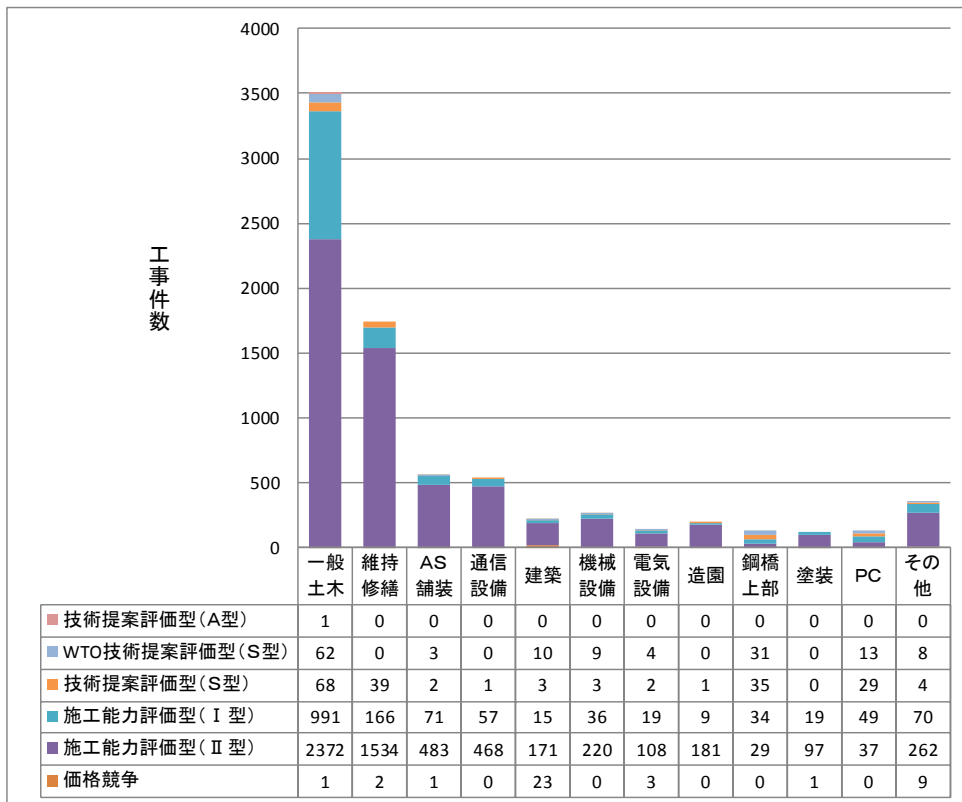
注1) 8地方整備局の工事を対象（港湾・空港関係工事を含む）。
 注2) 適用率は随意契約を除く全発注工事金額に対する総合評価落札方式実施金額の割合。
 注3) 実施金額は契約額（税抜）
 注4) 上記の他、平成28年度には技術提案・交渉方式による手続きを経た312億円（4件）の工事の契約を締結。

1. 総合評価落札方式の適用状況

(2) 契約タイプ別の適用状況〔平成28年度〕

- 鋼橋上部とPC以外の工事種別は、施工能力評価型の適用が概ね9割を超えている。
- 技術提案評価型を適用した工事の割合は、鋼橋上部で約5割、PCで約3割となっている。

工事件数:7,866件



注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事

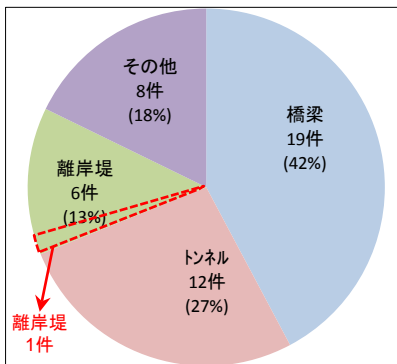
1. 総合評価落札方式の適用状況

(3) 技術提案評価型(A型)の実施状況〔平成17年度～平成28年度の合計〕

- 平成28年度は、1件の工事で技術提案評価型(AⅡ型)が適用されている。
- 技術提案評価型(AⅡ型)の適用は、橋梁、トンネルで全体の69%(件数)、60%(金額)となっている。
- 技術提案評価型(AⅢ型)の適用は、橋梁、トンネル、ダムで全体の68%(件数)、88%(金額)となっている。

〔技術提案評価型(AⅡ型)〕

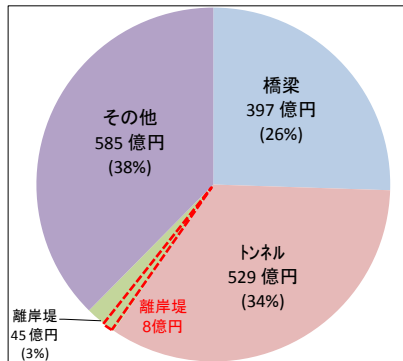
【件数】



【工事区分】

区分	件数	金額
橋梁	19件	397 億円
トンネル	12件	529 億円
離岸堤	6件	45 億円
取水設備	1件	30 億円
樋管改築	1件	6 億円
建築	1件	6 億円
地盤改良	1件	4 億円
函渠	1件	122 億円
砂防堰堤	1件	1 億円
JCTランプ	2件	416 億円
計	45件	1,556 億円

【金額(契約額)】

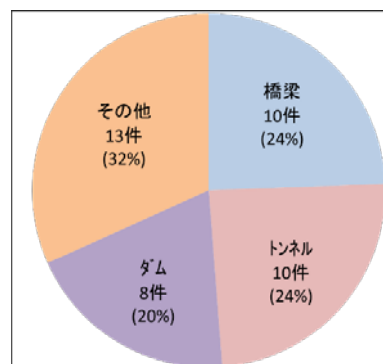


...平成28年度案件

注1) 8地方整備局において平成17年度～平成28年度に契約した工事のうち、下記を除く工事を対象。
・港湾・空港関係工事
注2) 金額は契約額(税抜)

〔技術提案評価型(AⅢ型)〕

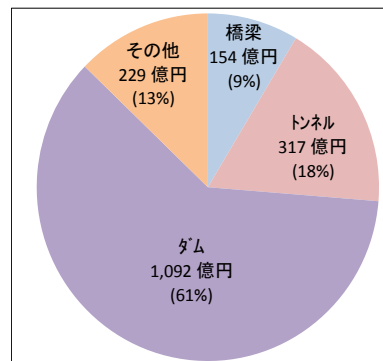
【件数】



【工事区分】

区分	件数	金額
橋梁	10件	154 億円
トンネル	10件	317 億円
ダム	8件	1,092 億円
可動堰改築	2件	98 億円
計測設備	2件	9 億円
舗装	2件	4 億円
建築	1件	40 億円
U型擁壁	1件	32 億円
箱型函渠	1件	14 億円
土壌汚染処理	1件	15 億円
高水敷造成	1件	11 億円
構造物撤去	1件	2 億円
排水機場	1件	4 億円
計	41件	1,792 億円

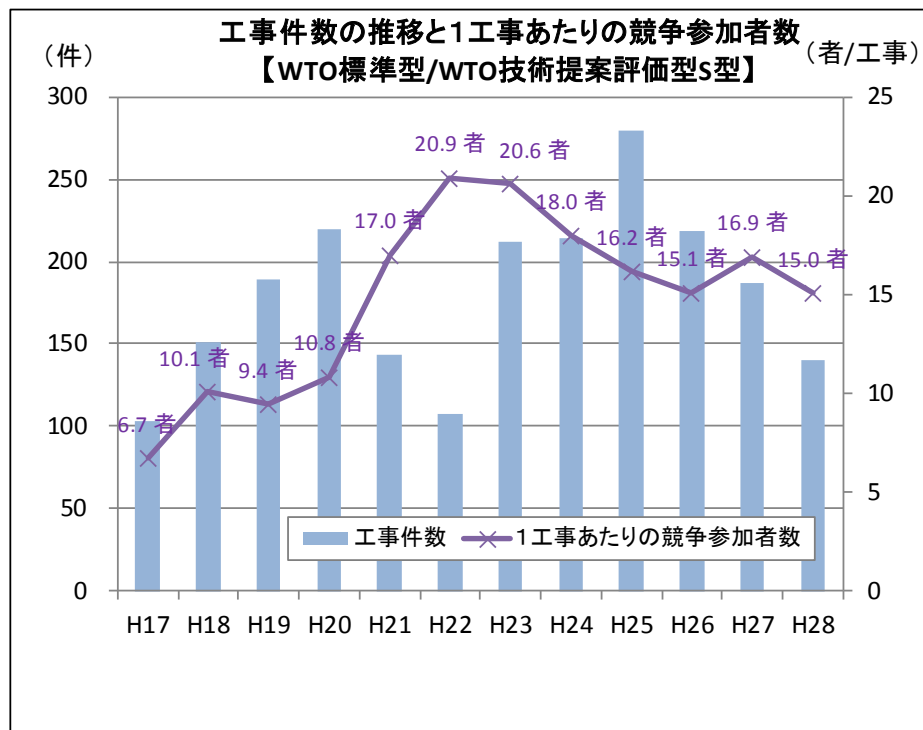
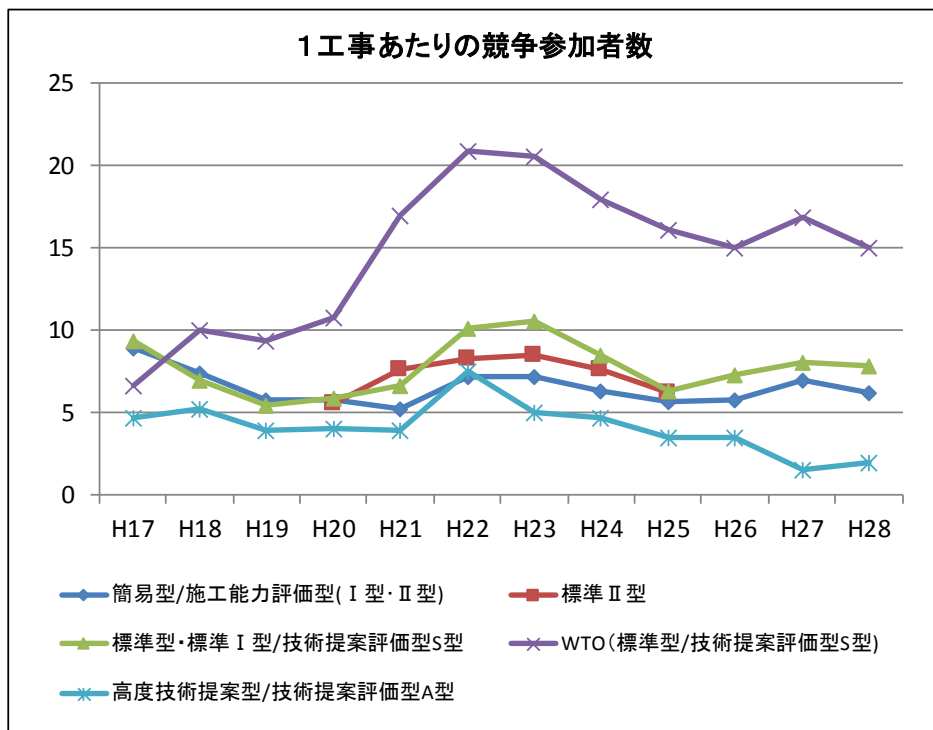
【金額(契約額)】



2. 競争参加の状況

(1) 1工事あたりの競争参加者数〔経年変化〕

■ WTO技術提案評価型(S型)における「1工事あたりの競争参加者数」は、平成20年度の10.8者から平成22年度に20.9者と倍増したのをピークに減少傾向となり、平成27年度は一時的に増加したものの平成28年度に再び減少した。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象。

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・加算方式の試行工事(平成19年度)

注2) 競争参加者数は、平成22年度以前を7地方整備局で集計。

注3) 競争参加者数には、無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

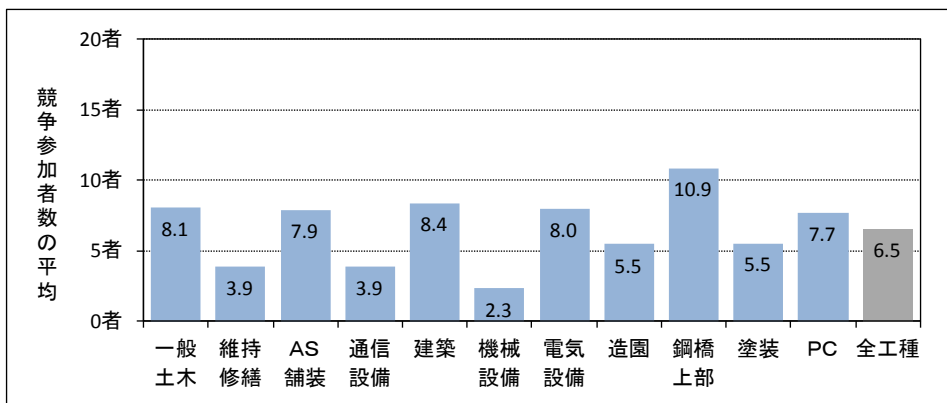
注4) 「WTO(標準型)」は、標準I型、標準II型のうちWTO対象額以上の工事、「WTO技術提案評価型(S型)」は、技術提案評価型(S型)のうちWTO対象額以上の工事を示す。(以後、同様)

2. 競争参加の状況

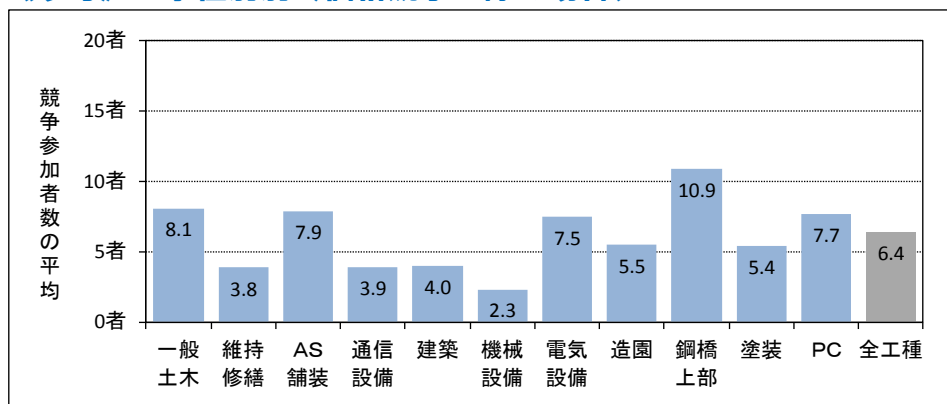
(2) 競争参加の状況〔平成28年度〕

- 「競争参加者数」は、一般土木、AS舗装、電気設備、鋼橋上部、PCが多く、維持修繕、通信設備、機械設備は少ない。なお、建築は価格競争を除くと競争参加者数は少ない。
- 総合評価の契約タイプ別では、WTO技術提案評価型(S型)の「競争参加者数」は平均15.0者と、他の契約タイプに比べて多い。

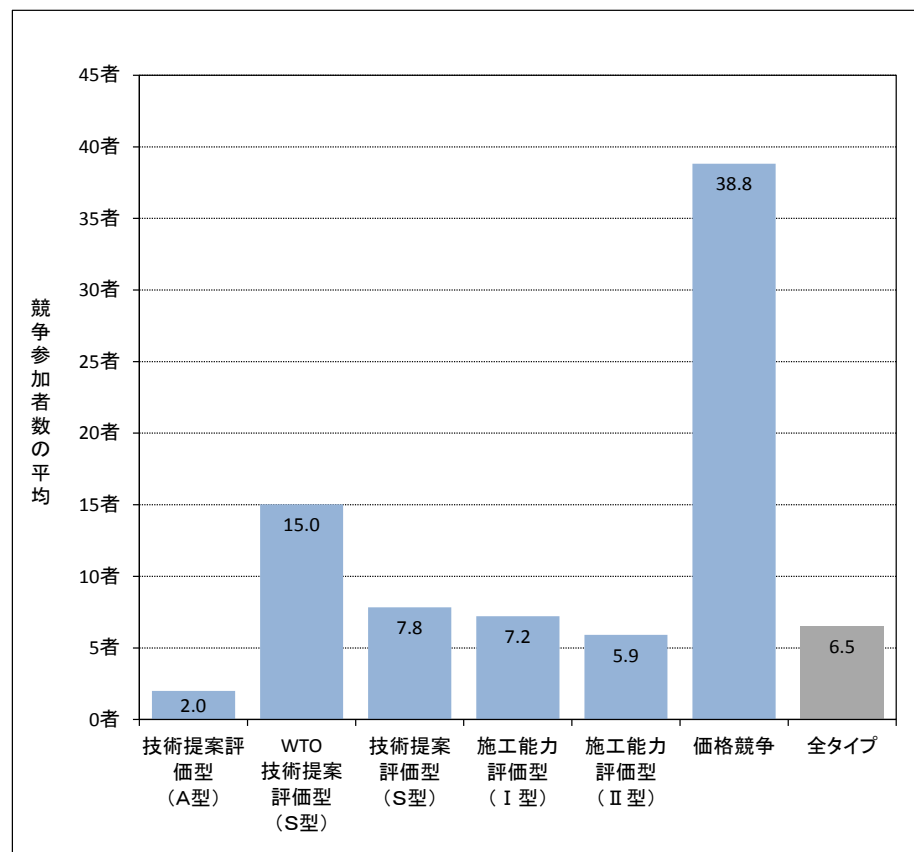
① 工事種別別



【参考】工事種別別（価格競争を除く場合）



② 契約タイプ別



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

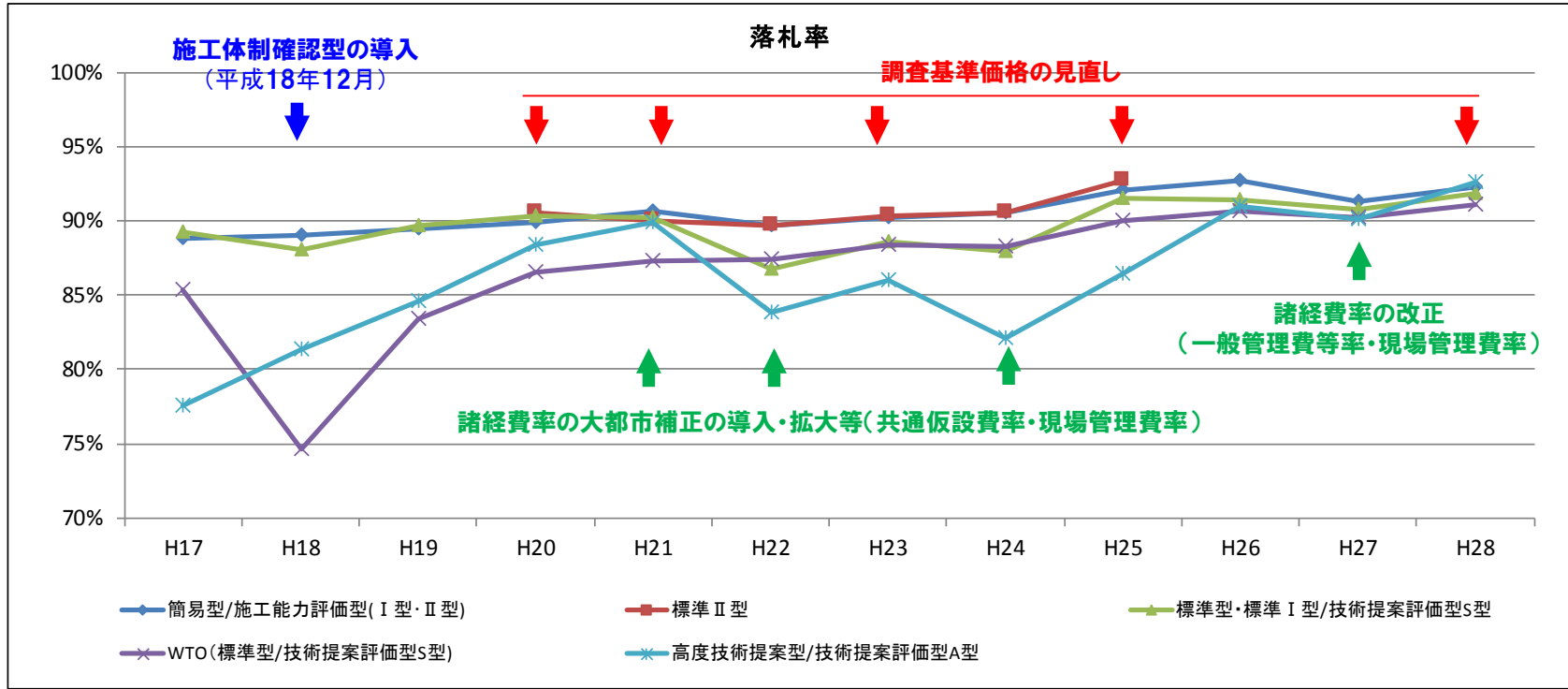
・港湾・空港関係工事

注2) 競争参加者数には、無効・辞退等及び予定価格超過者を含む。

3. 入札の状況

(1) 入札の状況 (「落札率」) [経年変化]

- 「落札率」は、平成18年度の施工体制確認型の導入以降、随時の調査基準価格の見直しの影響により経年で増加傾向にある。
- 平成28年度は、調査基準価格の引き上げや発注量(件数・金額)の増加等があり前年度より落札率が上昇している。



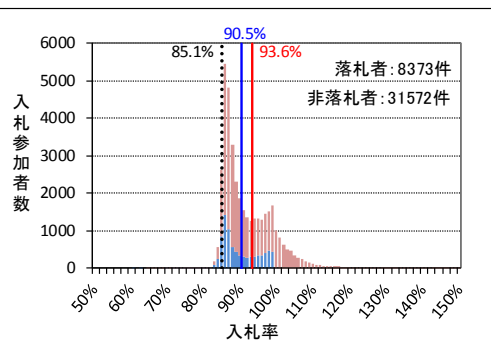
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・加算方式の試行工事(平成19年度)

3. 入札の状況

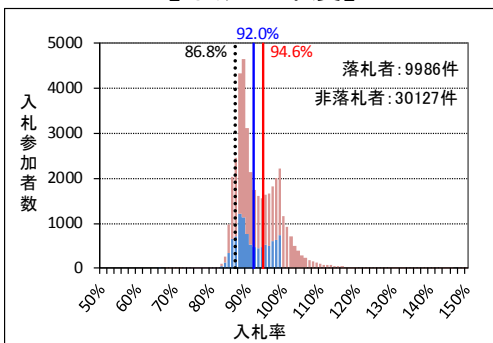
(2) 入札の状況（入札率の分布）〔経年変化〕

- 「入札率」の分布は、調査基準価格付近に集中する傾向が続いている。
- 「平均入札率」は、平成24年度以降緩やかな増減はあるものの概ね横這い傾向となっている。

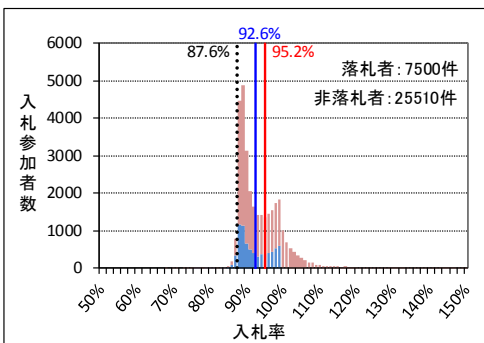
【平成24年度】



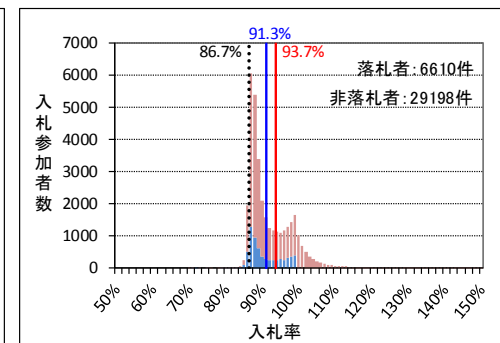
【平成25年度】



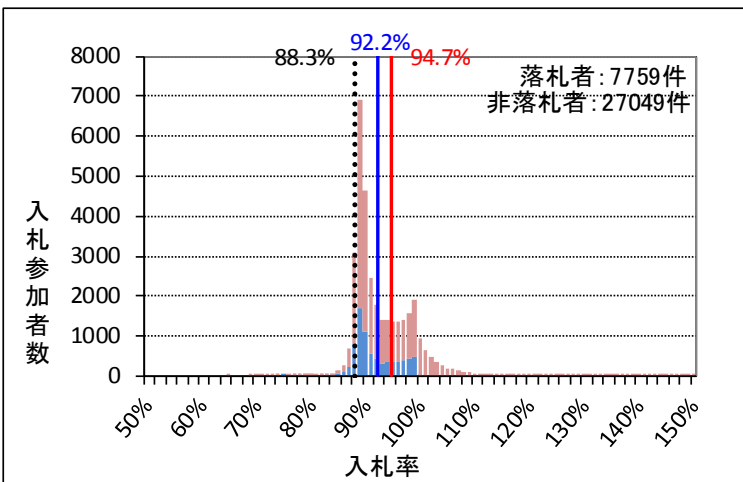
【平成26年度】



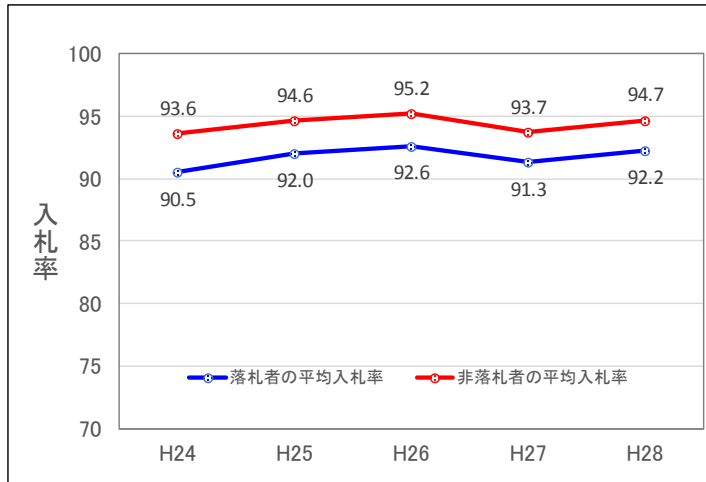
【平成27年度】



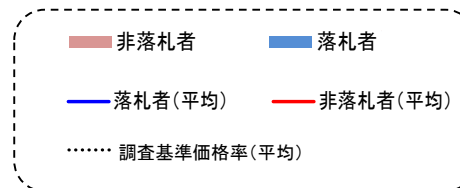
【平成28年度】



【平均入札率の経年変化】



〔凡例〕



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・調査基準価格が設定されていない工事
 注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

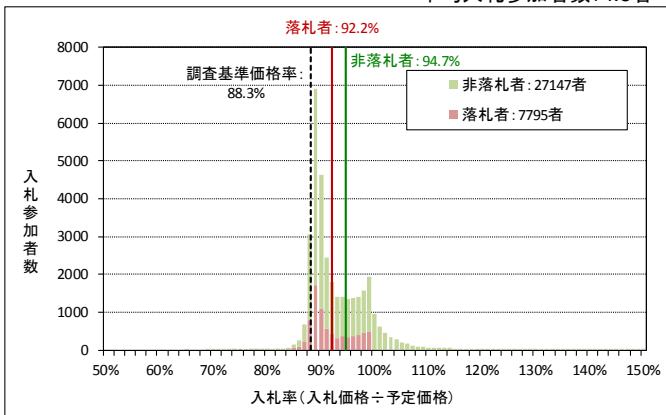
3. 入札の状況

(3) 入札率の分布〔平成28年度〕

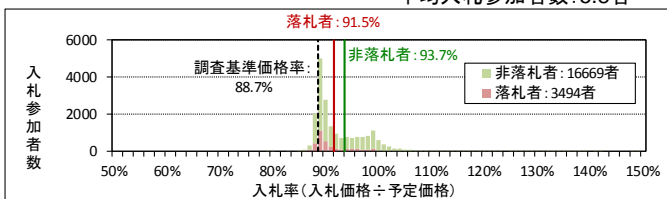
① 工事種別別

■ 維持修繕、機械設備 における「入札率」の分布は、調査基準価格付近と予定価格付近に2つのピークをもつ形状となっているが、一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCでは調査基準価格付近に分布が集中する傾向が見られる。

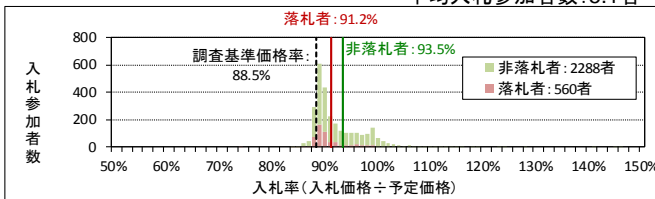
〔全工事種別〕
工事件数: 7,795件
平均工事規模(予定価格): 182百万円
平均入札参加者数: 4.5者



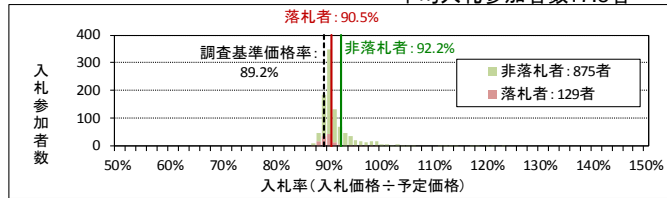
〔一般土木〕
工事件数: 3,494件
平均工事規模(予定価格): 229百万円
平均入札参加者数: 5.8者



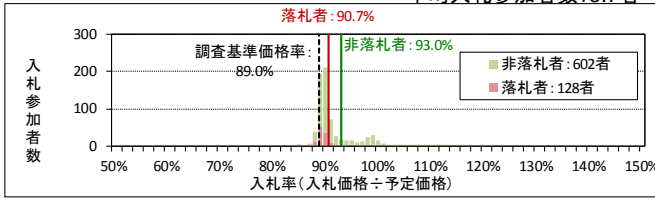
〔AS舗装〕
工事件数: 560件
平均工事規模(予定価格): 163百万円
平均入札参加者数: 5.1者



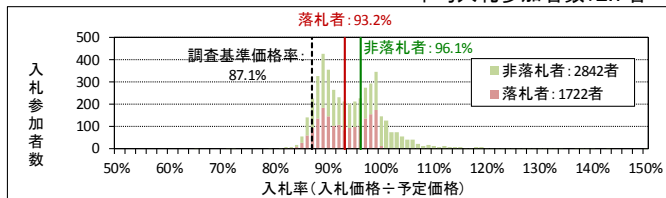
〔鋼橋上部〕
工事件数: 129件
平均工事規模(予定価格): 579百万円
平均入札参加者数: 7.8者



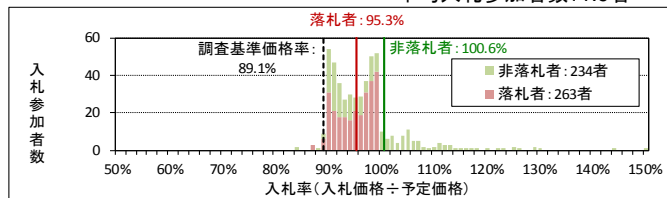
〔PC〕
工事件数: 128件
平均工事規模(予定価格): 395百万円
平均入札参加者数: 5.7者



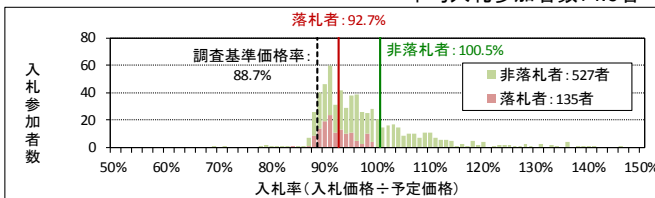
〔維持修繕〕
工事件数: 1,722件
平均工事規模(予定価格): 106百万円
平均入札参加者数: 2.7者



〔機械設備〕
工事件数: 263件
平均工事規模(予定価格): 131百万円
平均入札参加者数: 1.9者



〔電気設備〕
工事件数: 135件
平均工事規模(予定価格): 157百万円
平均入札参加者数: 4.9者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

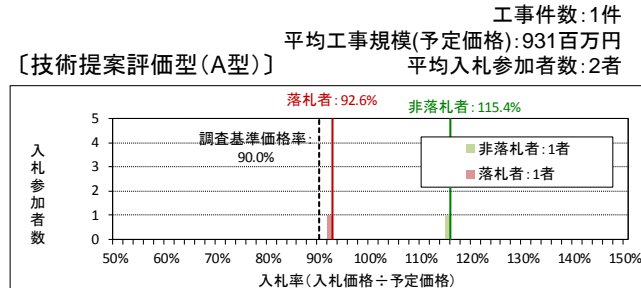
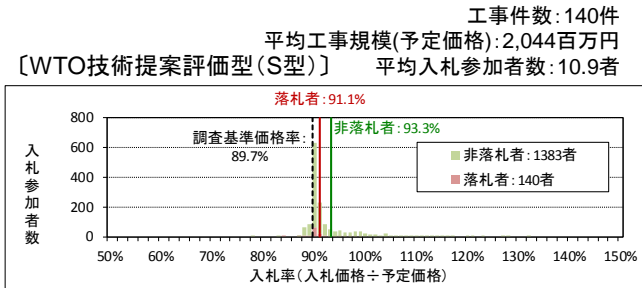
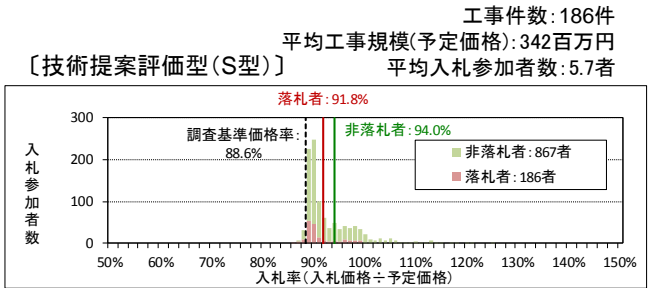
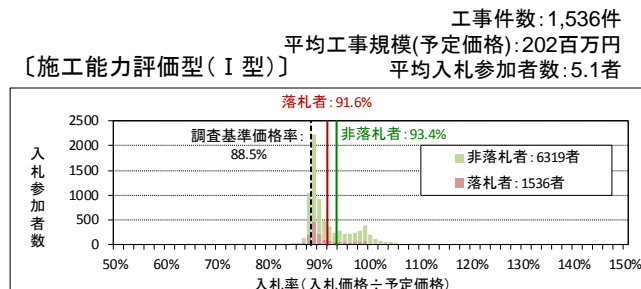
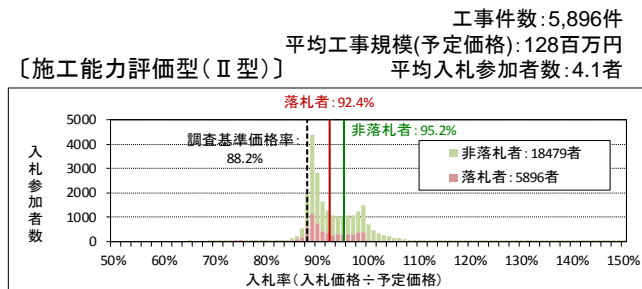
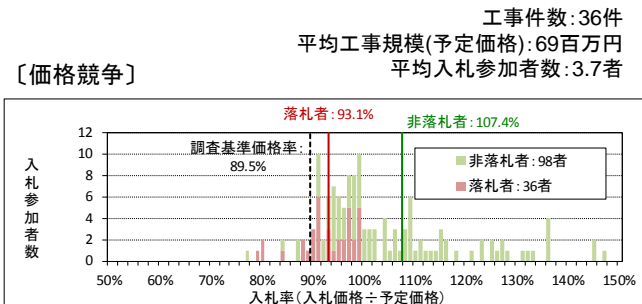
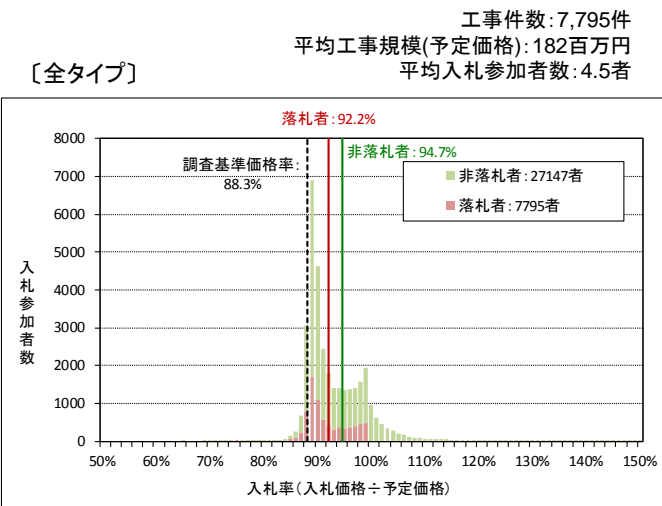
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

3. 入札の状況

②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型S型では、他の契約タイプに比べて「入札率」が調査基準価格付近に分布が集中する傾向にある。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

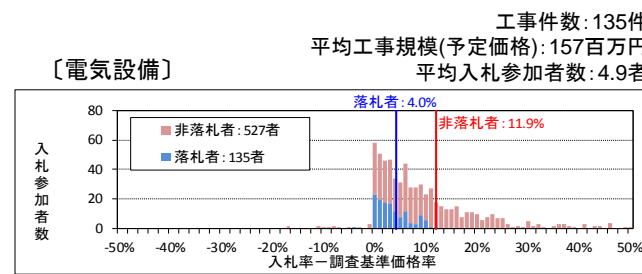
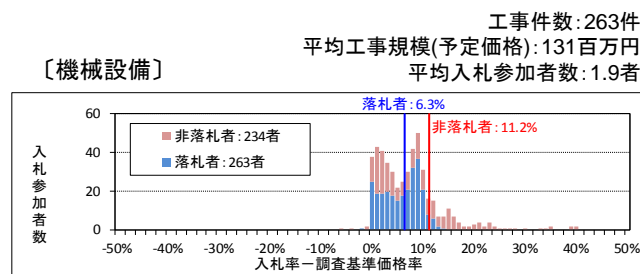
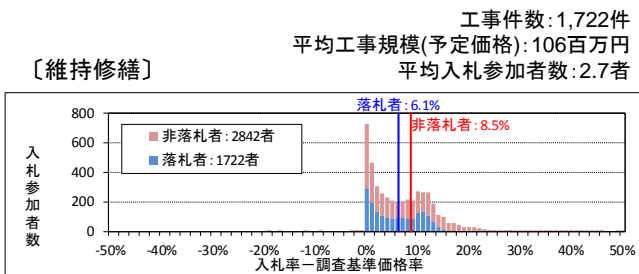
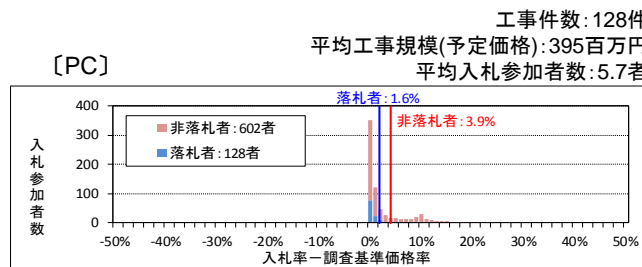
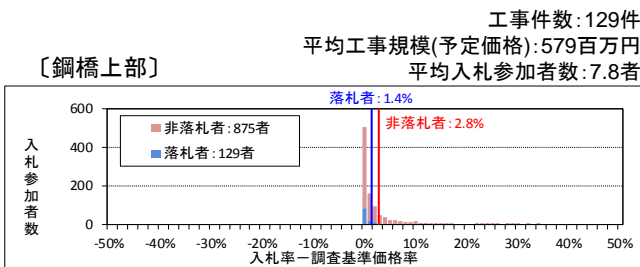
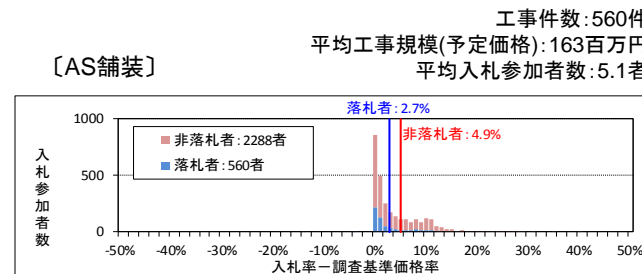
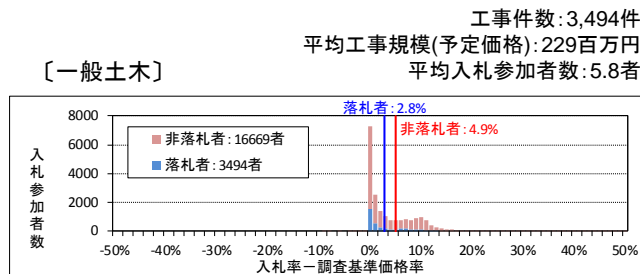
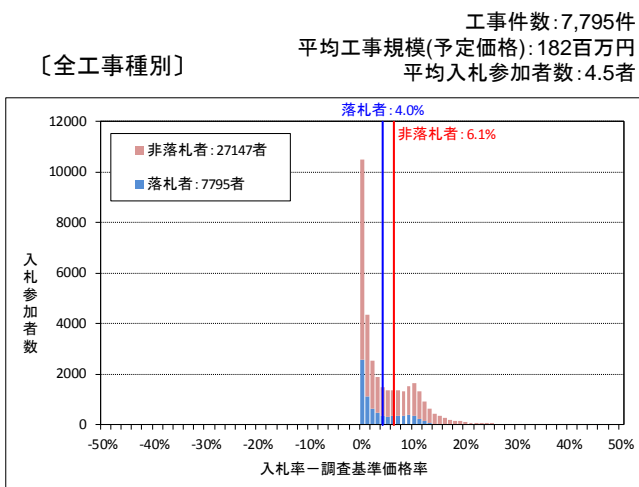
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

3. 入札の状況

(4) 「入札率-調査基準価格率」の分布 [平成28年度]

① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「入札率と調査基準価格率の差」の分布は、他の工事種別よりも0%に集中する傾向が顕著である。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

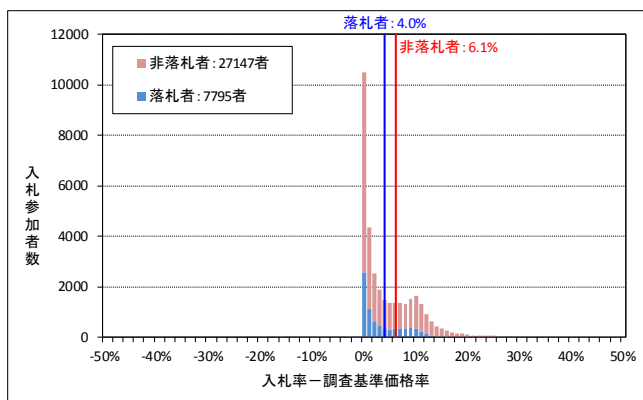
3. 入札の状況

②契約タイプ別

■ WTO技術提案評価型S型では、他の契約タイプに比べて「入札率と調査基準価格率の差」の分布が0%に集中する傾向にある。

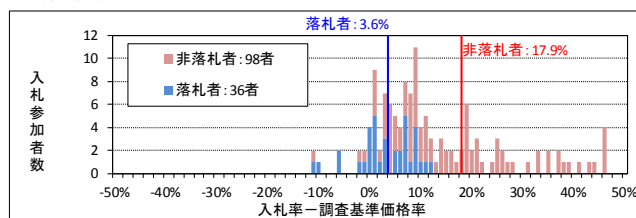
〔全タイプ〕

工事件数: 7,795件
平均工事規模(予定価格): 182百万円
平均入札参加者数: 4.5者



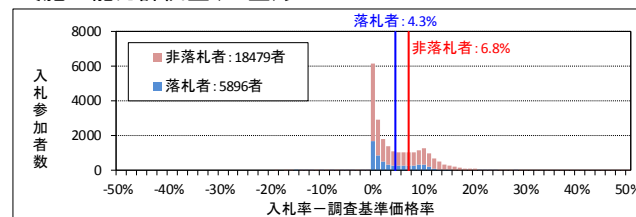
〔価格競争〕

工事件数: 36件
平均工事規模(予定価格): 69百万円
平均入札参加者数: 3.7者



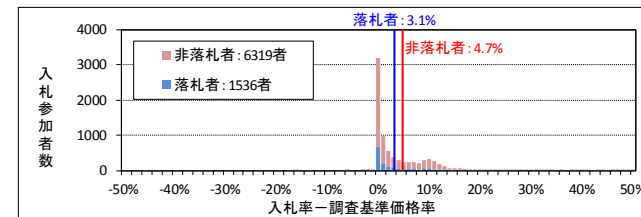
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数: 5,896件
平均工事規模(予定価格): 128百万円
平均入札参加者数: 4.1者



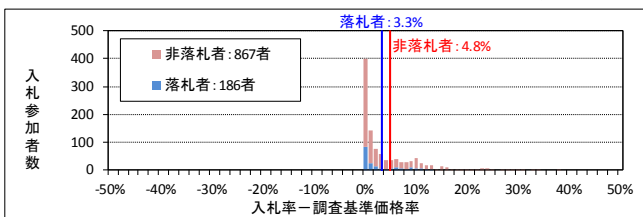
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

工事件数: 1,536件
平均工事規模(予定価格): 202百万円
平均入札参加者数: 5.1者



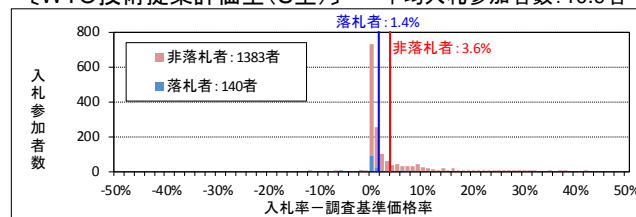
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 186件
平均工事規模(予定価格): 342百万円
平均入札参加者数: 5.7者



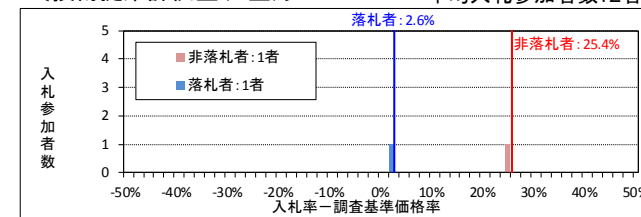
〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 140件
平均工事規模(予定価格): 2,044百万円
平均入札参加者数: 10.9者



〔技術提案評価型(A型)〕

工事件数: 1件
平均工事規模(予定価格): 931百万円
平均入札参加者数: 2者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

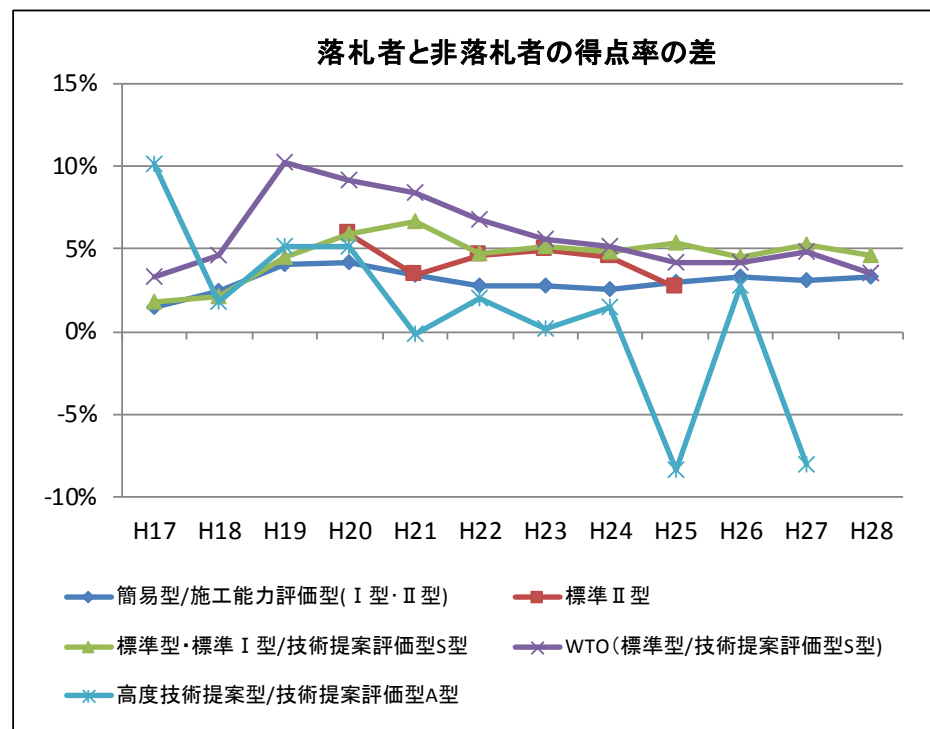
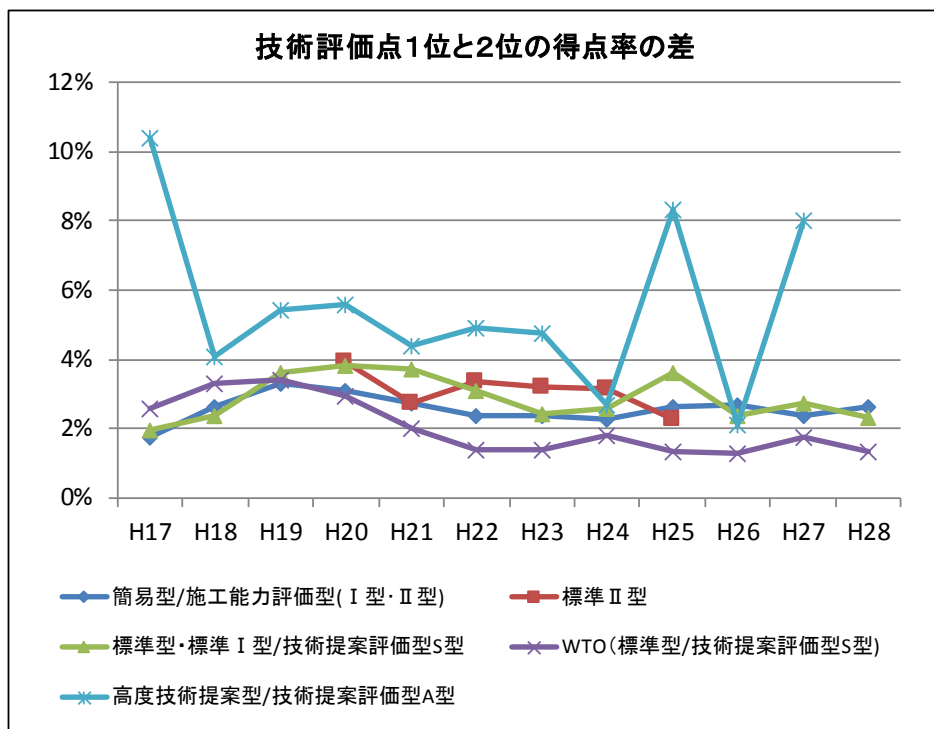
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除く。

注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

(1) 技術評価の状況（入札参加者の技術評価点）〔経年変化〕

- 「技術評価点1位と2位の得点率の差」及び「落札者と非落札者の得点率の差」は、施工能力評価型・技術提案評価型(S型)において、経年で概ね横這い傾向にある。
- 一方、WTO技術提案評価型(S型)は、平成19年度以降減少し「技術評価点1位と2位の得点率の差」では他の契約タイプと比べ得点率の差が少ない状況が続いている。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・加算方式の試行工事(平成19年度)
- ・予定価格内1者の工事(「技術評価点1位と2位の得点差」の集計)

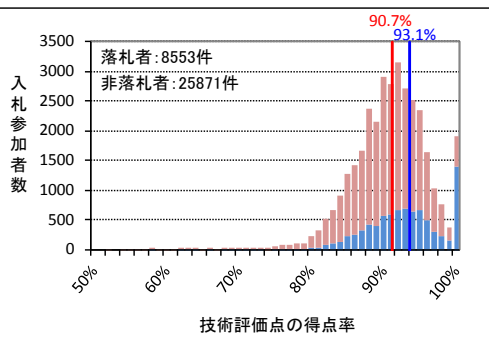
注2) 技術評価点の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

4. 技術評価の状況

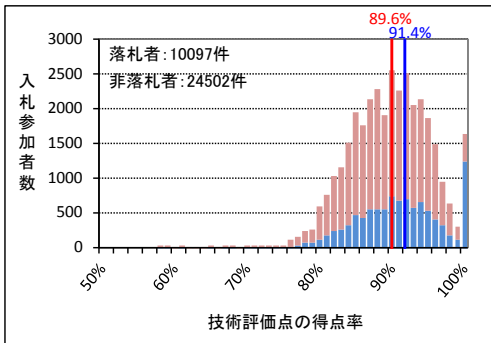
(2) 技術評価の状況（入札参加者の技術評価点得点率の分布）〔経年変化〕

- 「技術評価点の得点率（各社の技術評価点÷技術評価点の満点）」の分布は、顕著な経年変化は見受けられない。
- 「平均得点率」は、平成24年度以降緩やかな増減はあるものの概ね横這い傾向となっている。

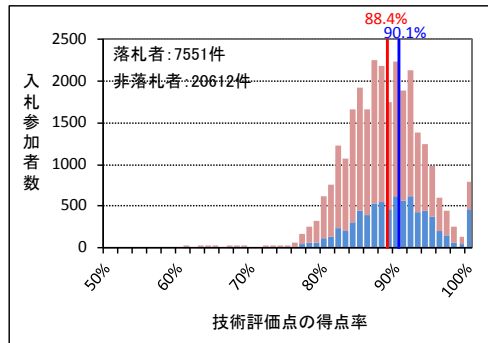
【平成24年度】



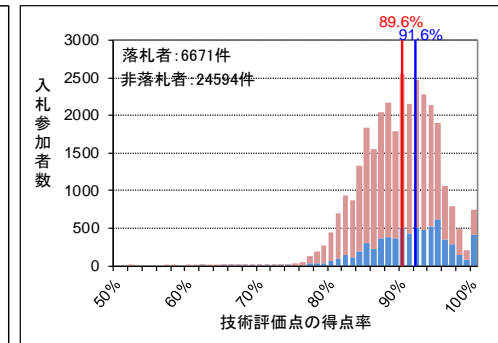
【平成25年度】



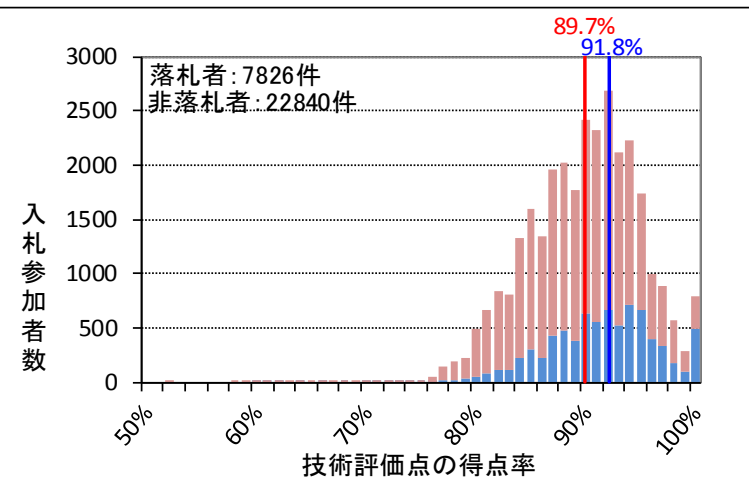
【平成26年度】



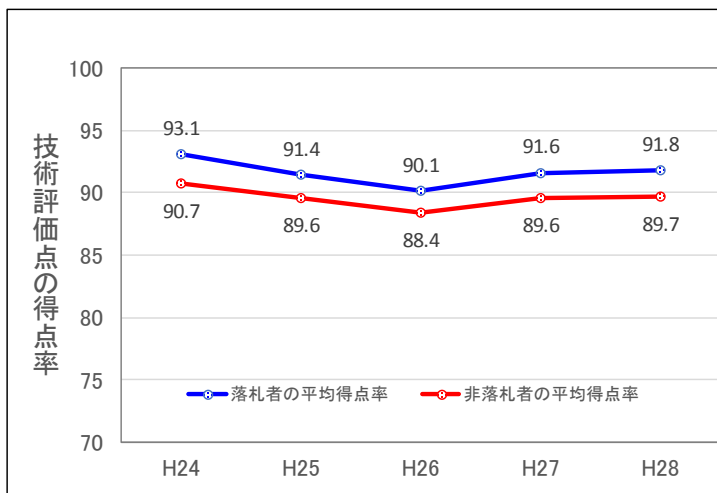
【平成27年度】



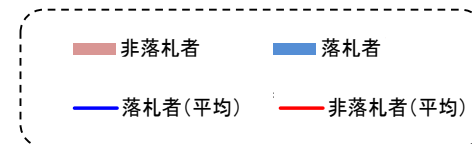
【平成28年度】



【平均得点率の経年変化】



〔凡例〕



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

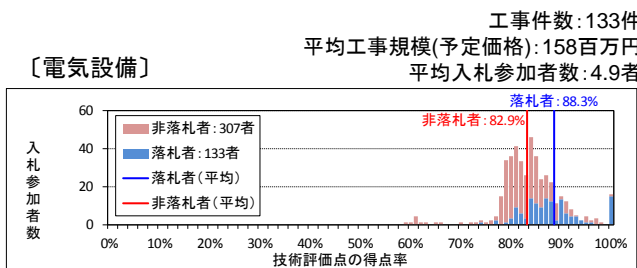
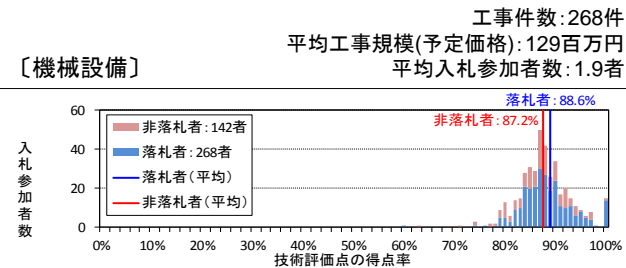
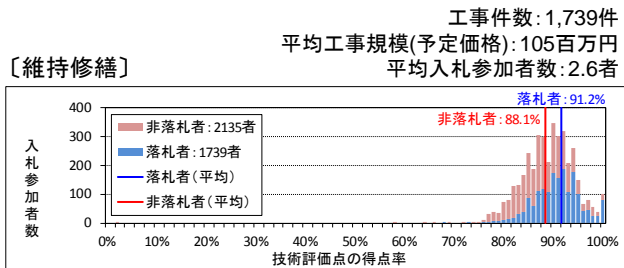
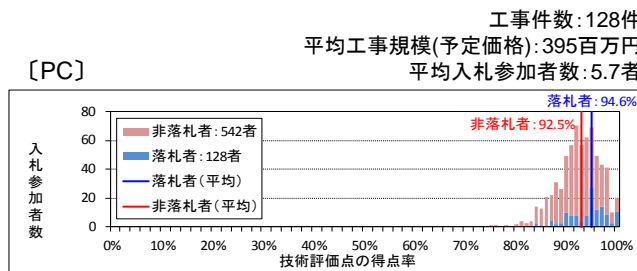
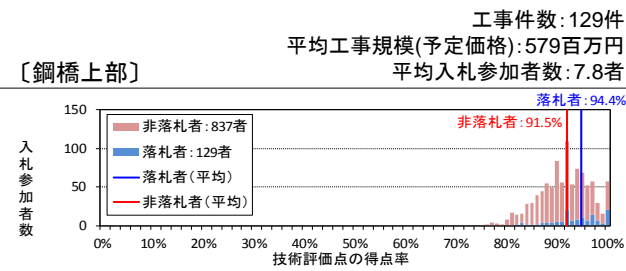
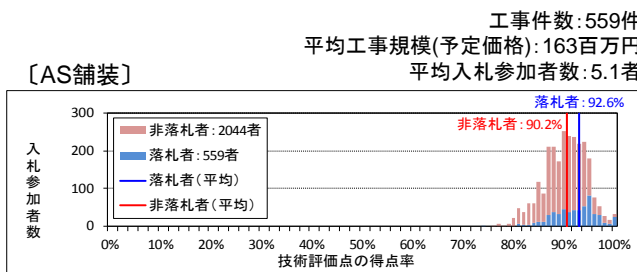
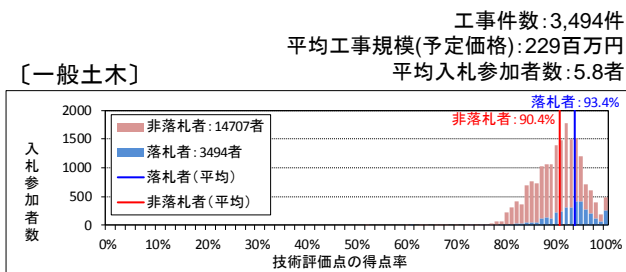
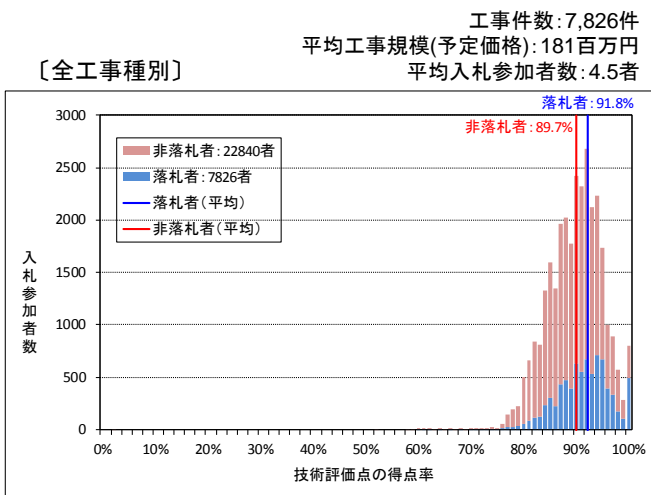
注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。

4. 技術評価の状況

(3) 得点率の分布 [平成28年度]

① 工事種別別

- 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点の得点率」の平均は、他の工事種別よりも高い。
- 維持修繕、機械設備、電気設備における「技術評価点の得点率」の分布は、得点率が低い範囲にも落札者が分布している。



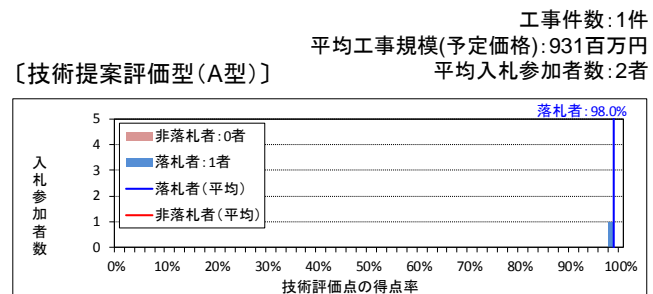
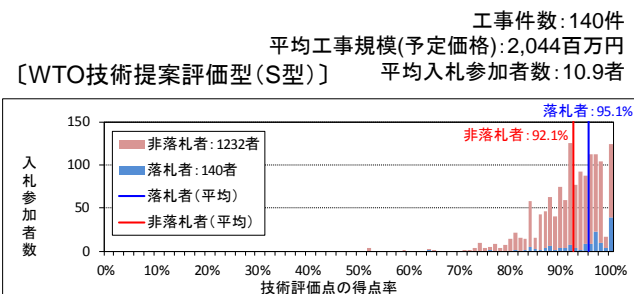
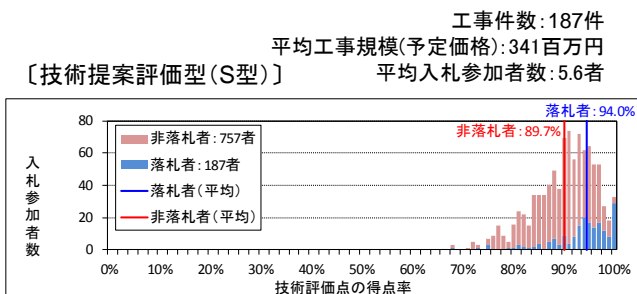
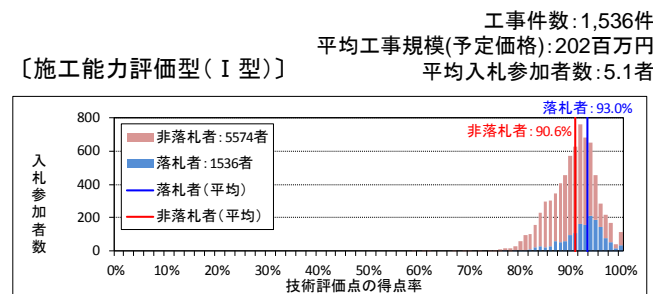
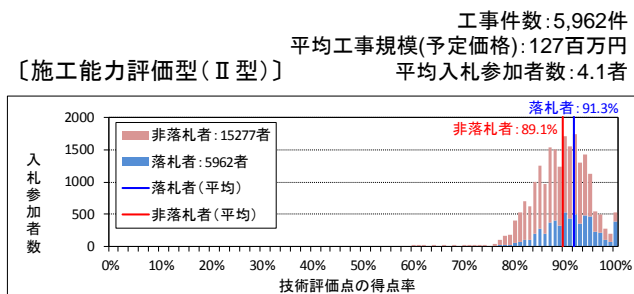
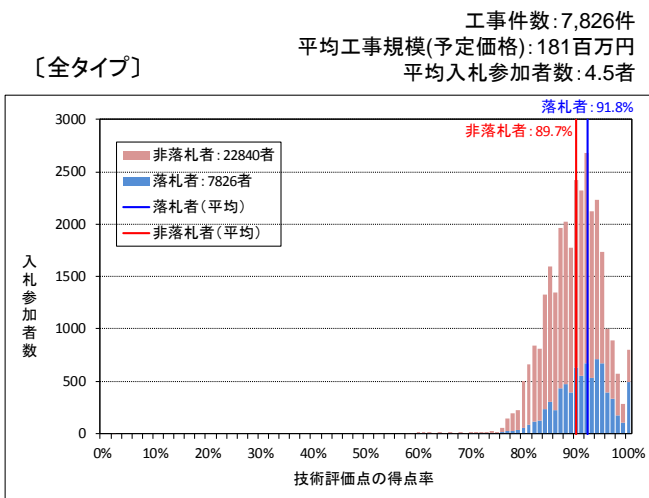
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。ただし平均入札参加者数には予定価格超過者を含む。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

②総合評価のタイプ別

■ 「技術評価点の得点率」の平均は、施工能力評価型よりも技術提案評価型において落札者と非落札者の得点率の差が大きい。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争

注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。ただし平均入札参加者数には予定価格超過者を含む。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

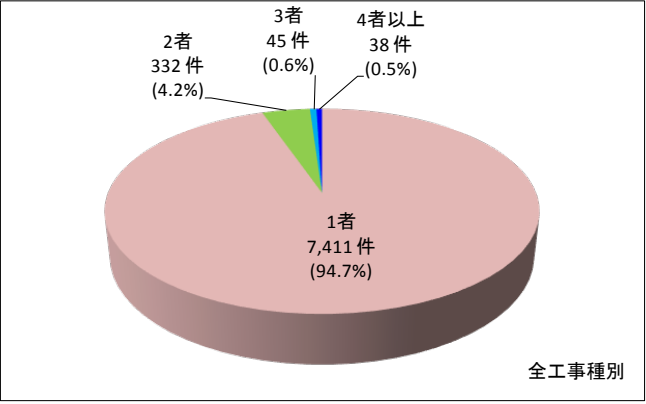
4. 技術評価の状況

(4) 1位同点者数〔平成28年度〕

① 工事種別別

■ 鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位同点者数」は、他の工事種別よりも2者以上の割合が多い。更に鋼橋上部は、4者以上の割合も多い。

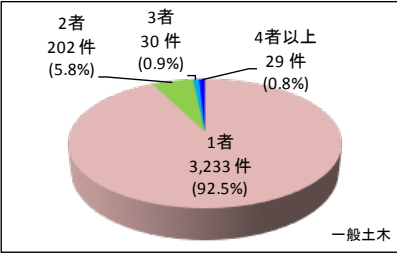
〔全工事種別〕



工事件数: 7,826件
平均工事規模
(予定価格): 181百万円
平均入札参加者数: 4.5者

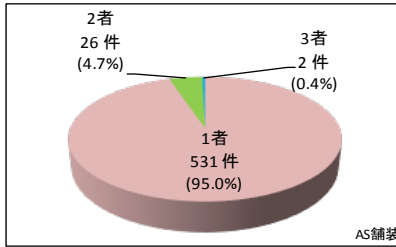
〔一般土木〕

工事件数: 3,494件
平均工事規模
(予定価格): 229百万円
平均入札参加者数: 5.8者



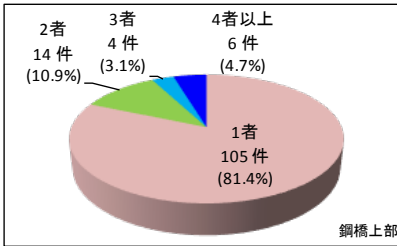
〔AS舗装〕

工事件数: 559件
平均工事規模
(予定価格): 163百万円
平均入札参加者数: 5.1者



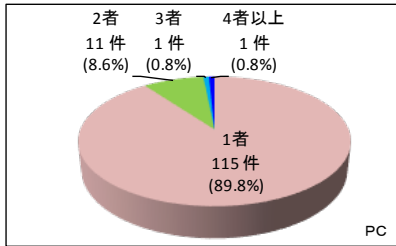
〔鋼橋上部〕

工事件数: 129件
平均工事規模
(予定価格): 579百万円
平均入札参加者数: 7.8者



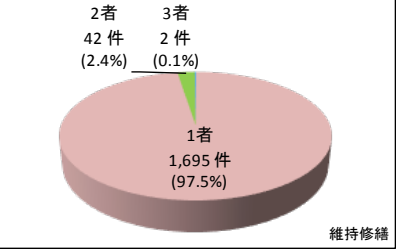
〔PC〕

工事件数: 128件
平均工事規模
(予定価格): 395百万円
平均入札参加者数: 5.7者



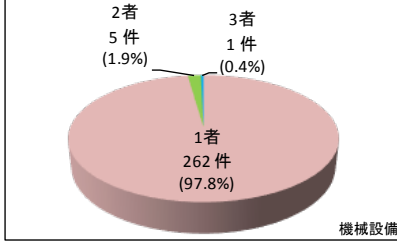
〔維持修繕〕

工事件数: 1,739件
平均工事規模
(予定価格): 105百万円
平均入札参加者数: 2.6者



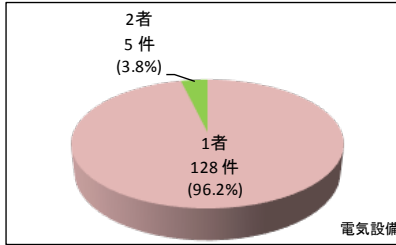
〔機械設備〕

工事件数: 268件
平均工事規模
(予定価格): 129百万円
平均入札参加者数: 1.9者



〔電気設備〕

工事件数: 133件
平均工事規模
(予定価格): 158百万円
平均入札参加者数: 4.9者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争

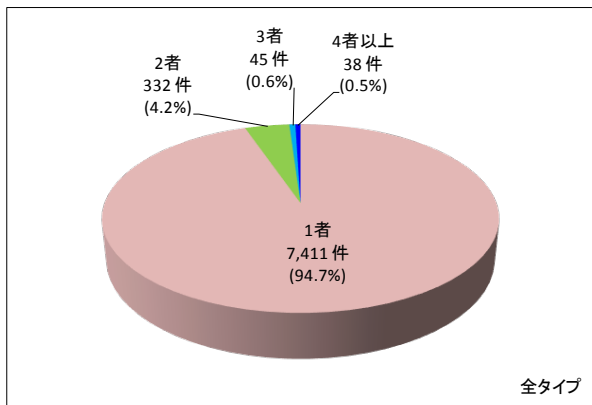
注2) 技術評価点1位同点者数は、競争参加者から無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位同点者数」は、他のタイプよりも2者以上の割合が多い。

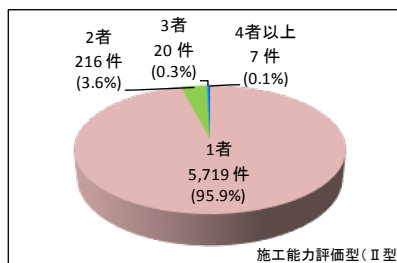
〔全タイプ〕



工事件数: 7,826件
平均工事規模
(予定価格): 181百万円
平均入札参加者数: 4.5者

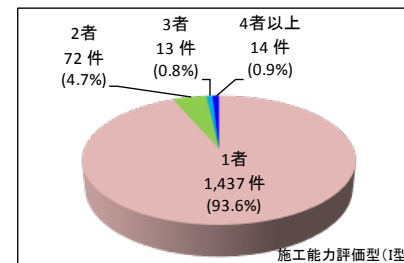
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕

工事件数: 5,962件
平均工事規模
(予定価格): 127百万円
平均入札参加者数: 4.1者



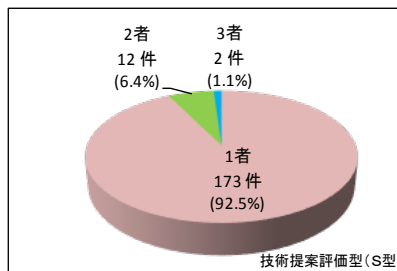
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕

工事件数: 1,536件
平均工事規模
(予定価格): 202百万円
平均入札参加者数: 5.1者



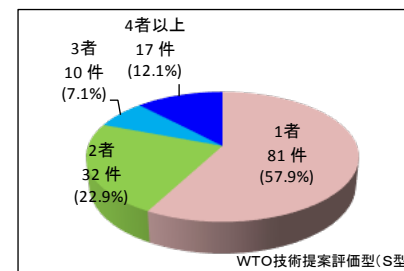
〔技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 187件
平均工事規模
(予定価格): 341百万円
平均入札参加者数: 5.6者



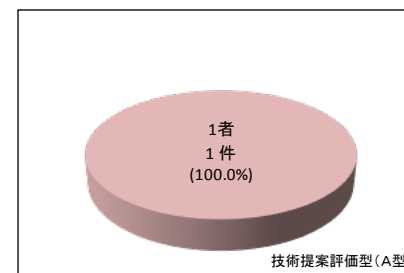
〔WTO技術提案評価型(S型)〕

工事件数: 140件
平均工事規模
(予定価格): 2,044百万円
平均入札参加者数: 10.9者



〔技術提案評価型(A型)〕

工事件数: 1件
平均工事規模
(予定価格): 931百万円
平均入札参加者数: 2者



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2) 技術評価点1位同点者数は、競争参加者から無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

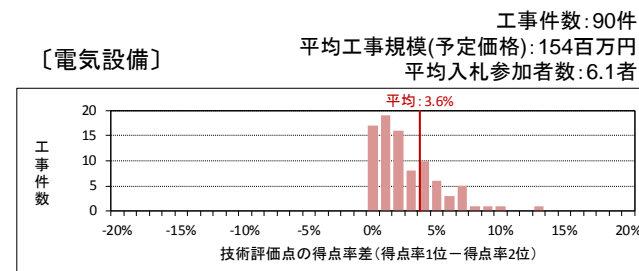
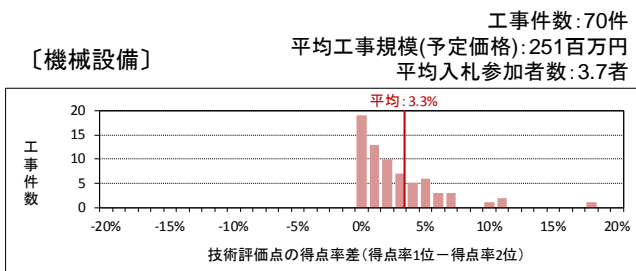
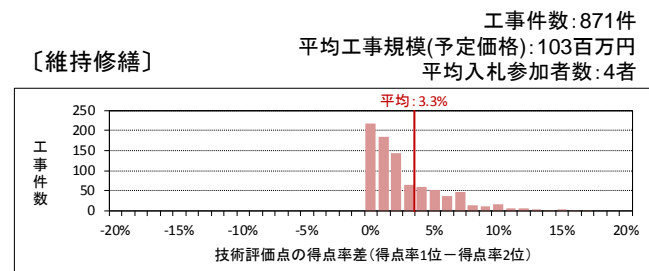
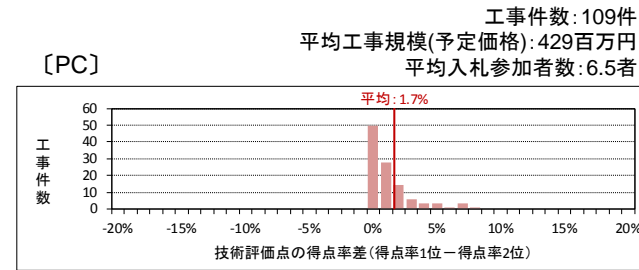
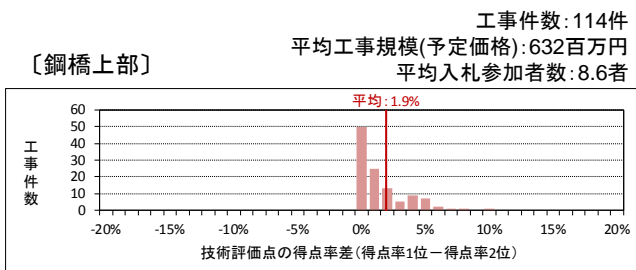
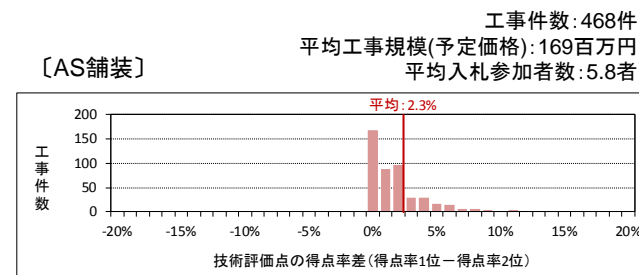
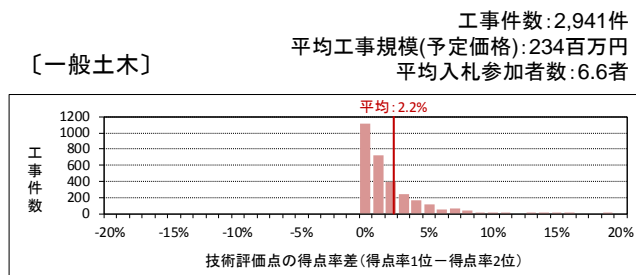
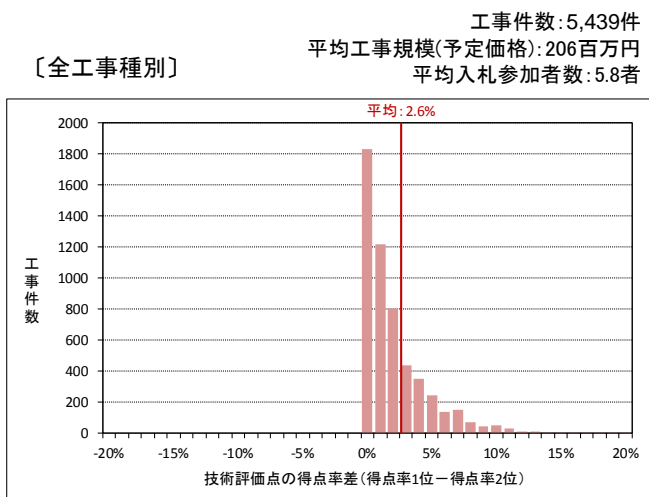
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

(5) 1位と2位の得点率の差の分布〔平成28年度〕

① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおける「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他の工事種別と比べて小さい。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

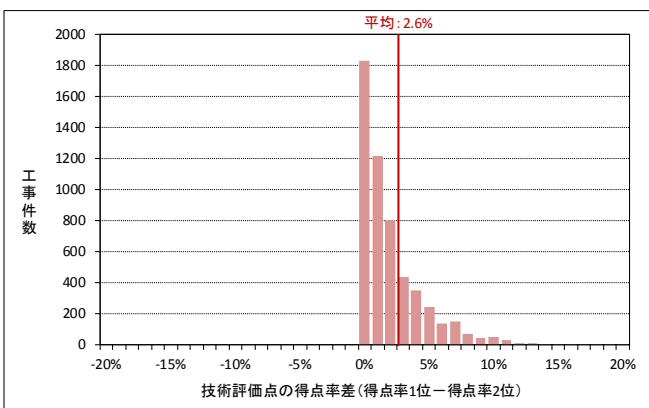
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

4. 技術評価の状況

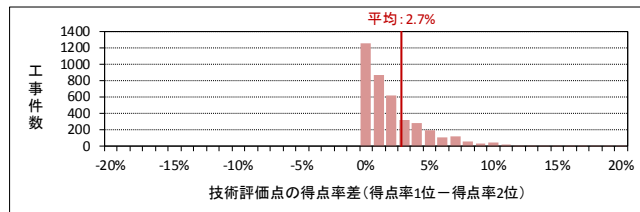
②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)における「技術評価点1位と2位の得点率の差」の平均は、他のタイプと比べて最も小さい。

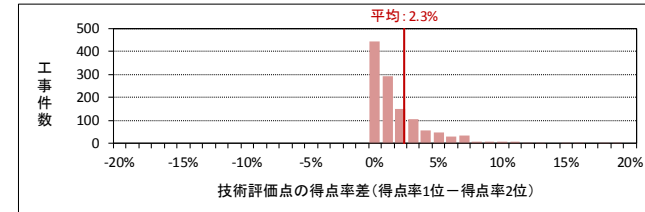
工事件数:5,439件
平均工事規模(予定価格):206百万円
平均入札参加者数:5.8者
〔全タイプ〕



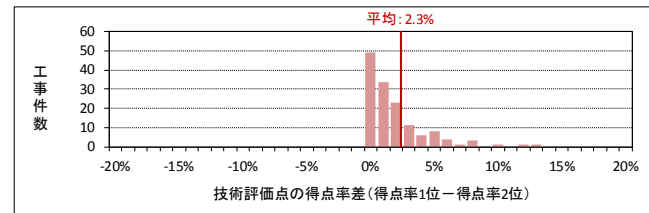
工事件数:3,976件
平均工事規模(予定価格):141百万円
平均入札参加者数:5.4者
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕



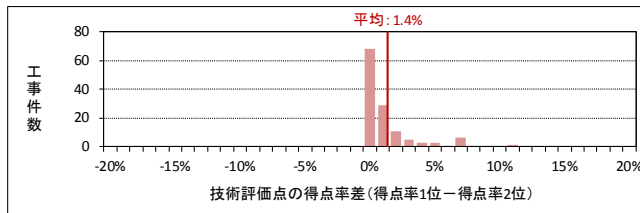
工事件数:1,195件
平均工事規模(予定価格):204百万円
平均入札参加者数:6.2者
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕



工事件数:142件
平均工事規模(予定価格):374百万円
平均入札参加者数:7者
〔技術提案評価型(S型)〕



工事件数:126件
平均工事規模(予定価格):2,075百万円
平均入札参加者数:11.9者
〔WTO技術提案評価型(S型)〕



工事件数:-
平均工事規模(予定価格):-
平均入札参加者数:-
〔技術提案評価型(A型)〕

技術提案評価型A型の適用工事は1件あるが
予定価格内1者であるため表示グラフ無し

注1)8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2)得点率の順位は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

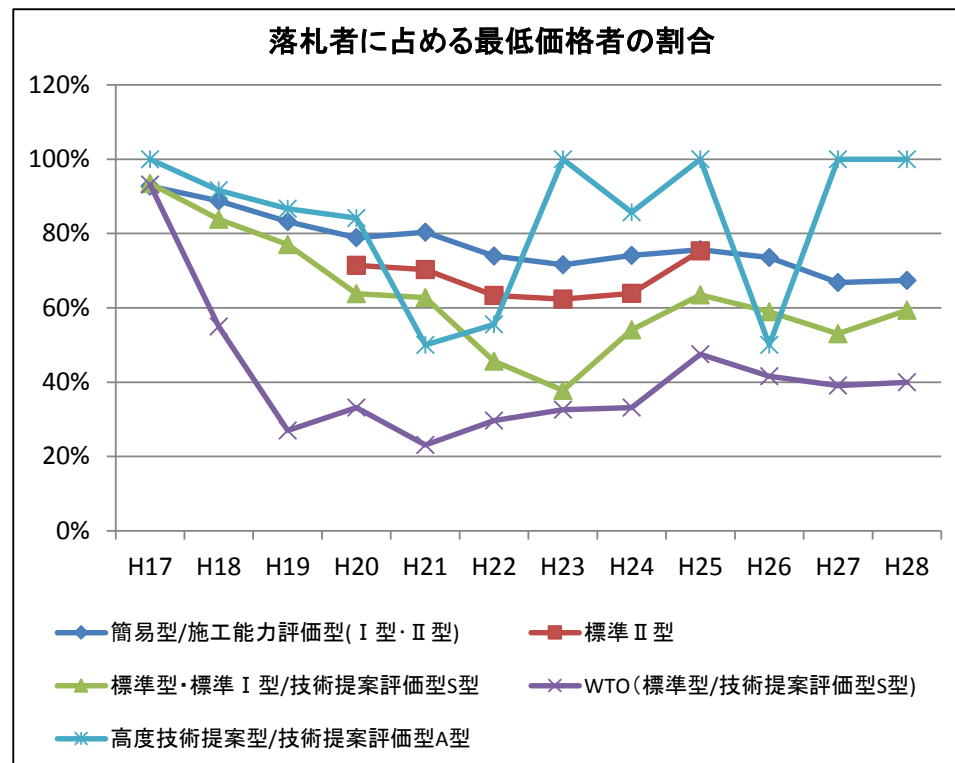
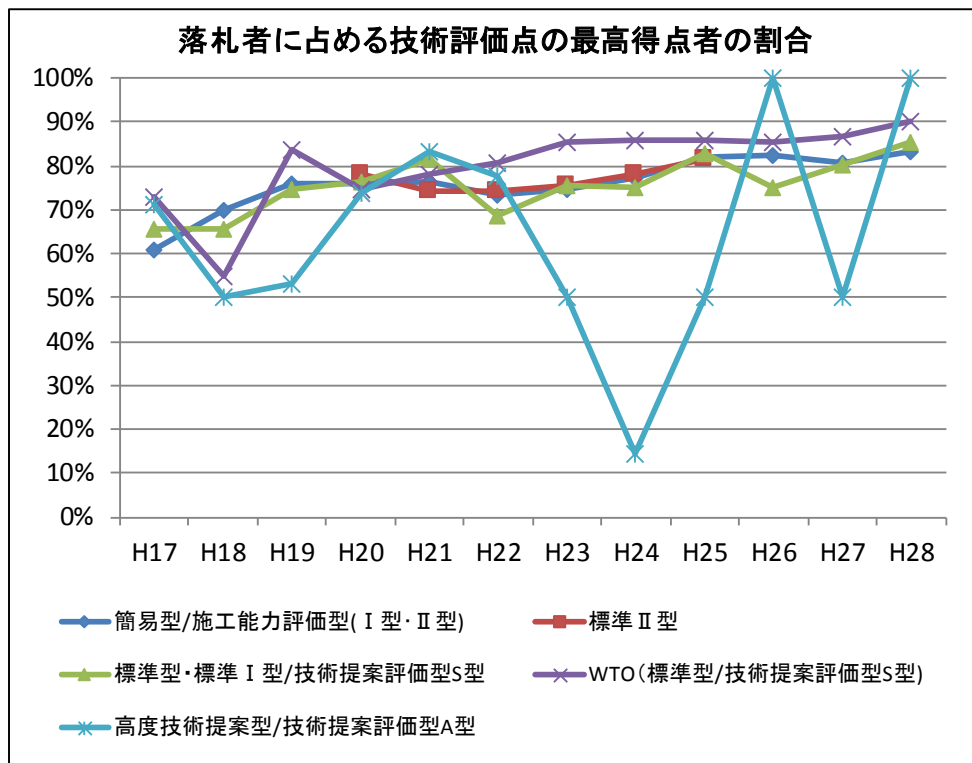
ただし平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。

注3)平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 落札者の特徴

(1) 落札者に占める技術評価点の最高得点者及び最低価格者の割合〔経年変化〕

- 「落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合」は、経年的に増加傾向にある。
- 「落札者に占める最低価格者の割合は、WTO技術提案評価型(S型)では平成21年度以降経年的に増加し近年は横這い傾向にある。また、施工能力評価型は、経年的に減少傾向にある。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・加算方式の試行工事(平成19年度)

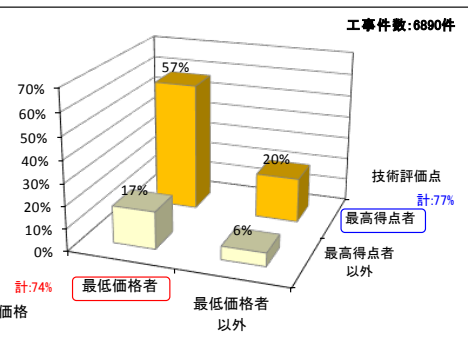
注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

5. 落札者の特徴

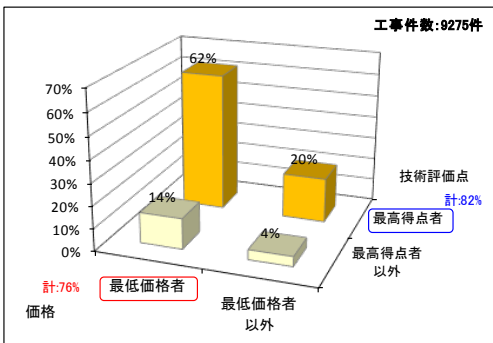
(2) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合〔施工能力評価型〕〔経年変化〕

■ 施工能力評価型における「落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合」は、平成25年度以降80%以上で推移している。また、「落札者に占める最低価格者の割合」は、平成27年度に67%に低下し、平成28年度も同水準となった。

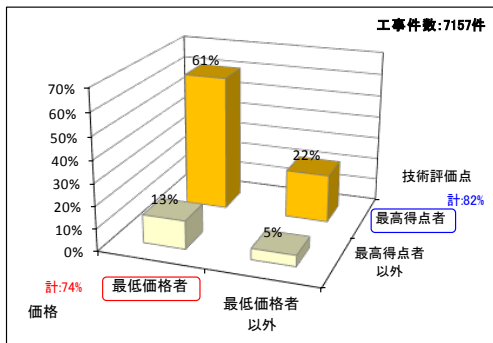
【平成24年度】



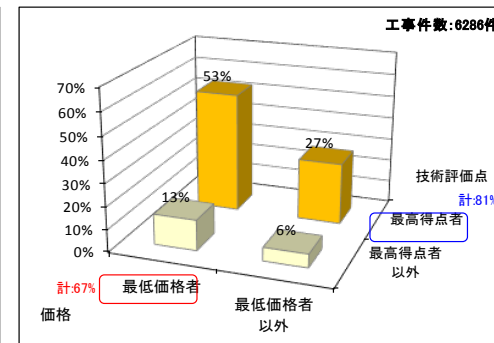
【平成25年度】



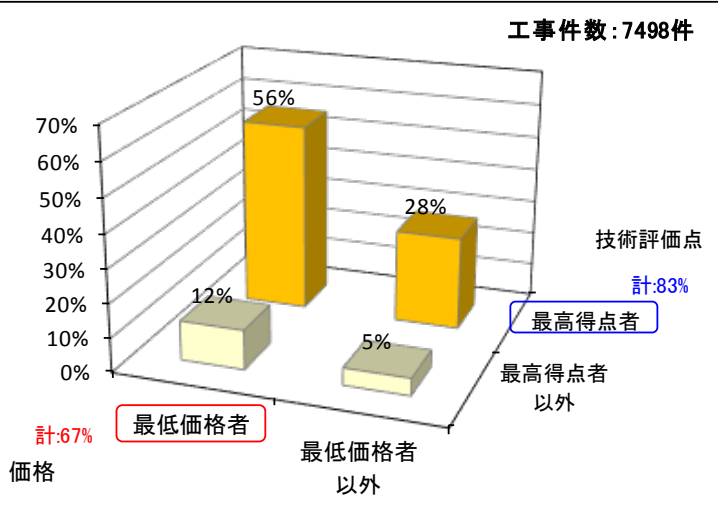
【平成26年度】



【平成27年度】



【平成28年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争

注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む

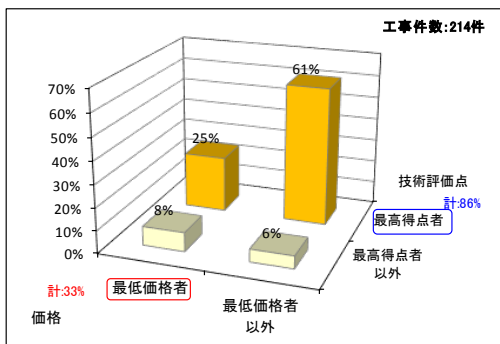
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

5. 落札者の特徴

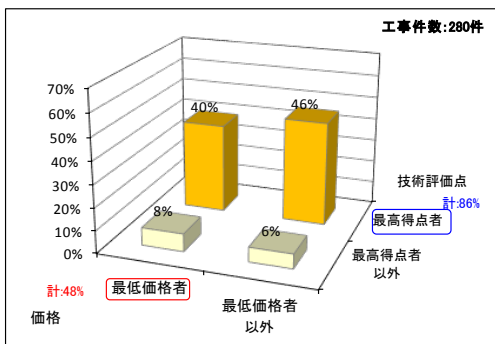
(3) 落札者に占める技術評価点の最高得点者・最高得点者以外、最低価格者・最低価格者以外の割合 [WTO技術提案評価型(S型)] [経年変化]

■ WTO技術提案評価型(S型)における「落札者に占める技術評価点の最高得点者の割合」は、平成24年度以降85%以上で推移している。また、「落札者に占める最低価格者の割合」は、平成25年度に48%に増加したが、平成26年度以降は40%程度で推移している。

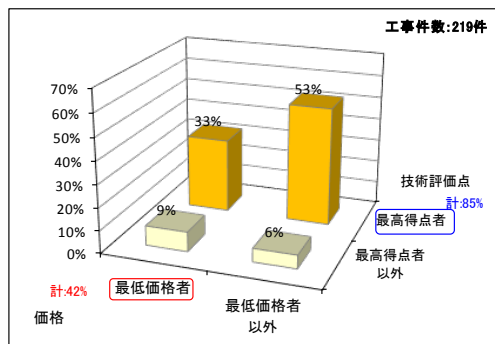
【平成24年度】



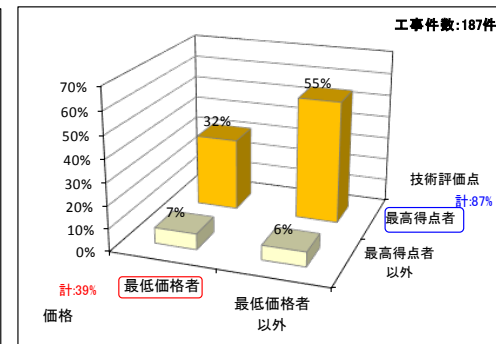
【平成25年度】



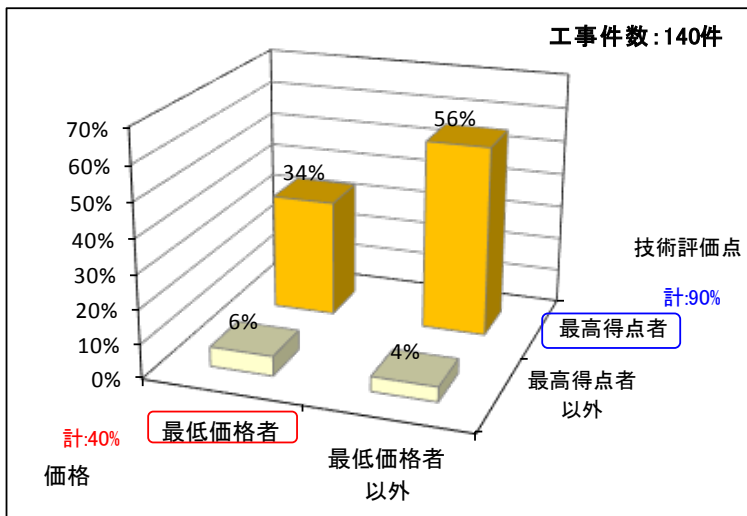
【平成26年度】



【平成27年度】



【平成28年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2) WTO技術提案評価型(S型)には二極化前のWTO標準型も含む

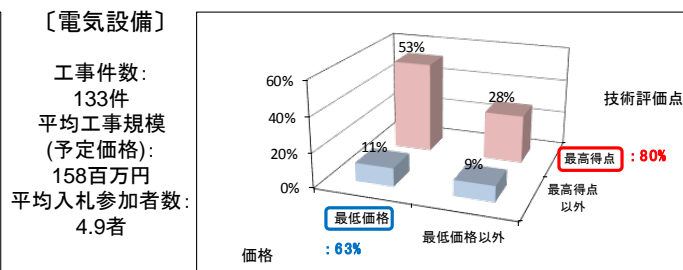
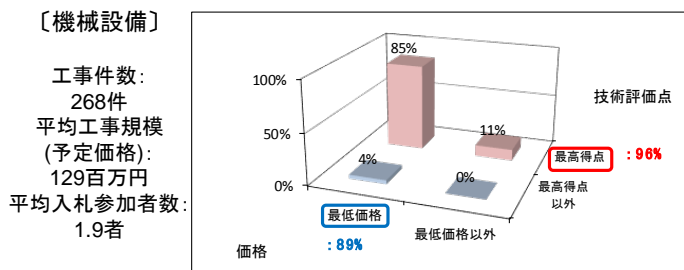
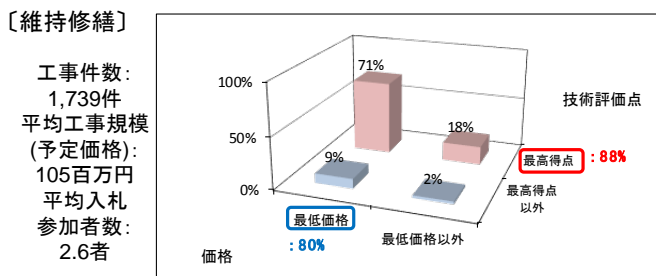
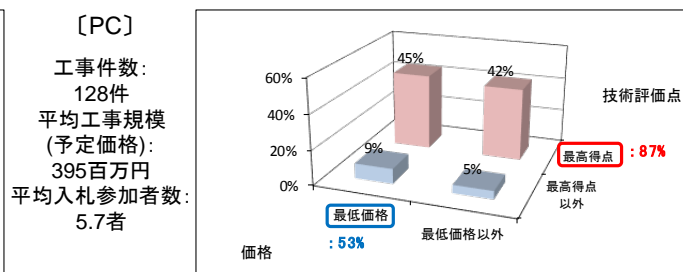
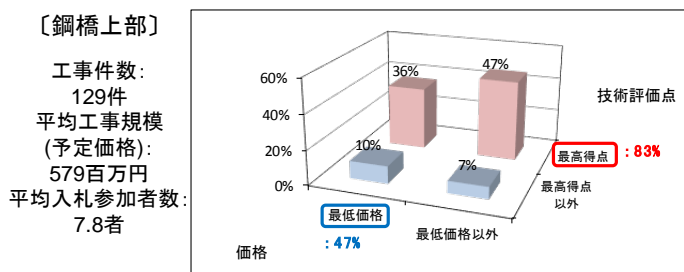
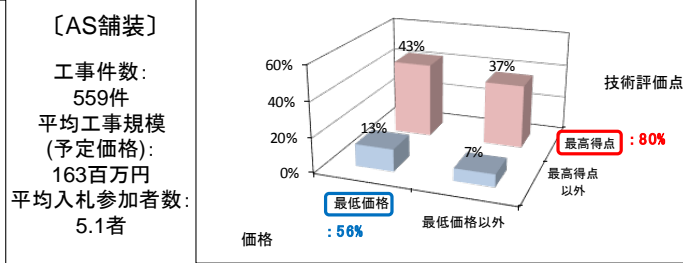
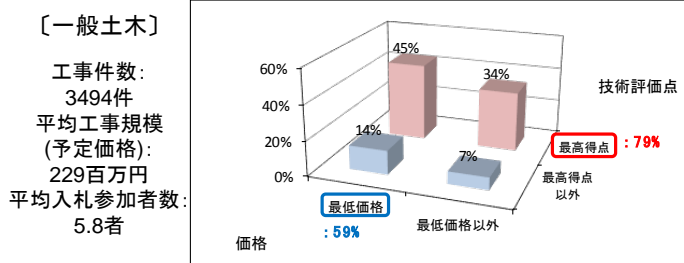
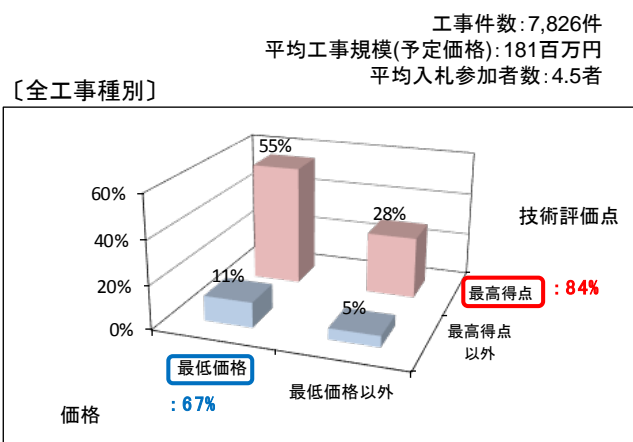
注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

5. 落札者の特徴

(4) 落札者の内訳〔平成28年度〕

① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、PC、維持修繕、機械設備、電気設備における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の企業が落札する割合が高いが、鋼橋上部では最高得点かつ最低価格以外の企業が落札する割合が高い。



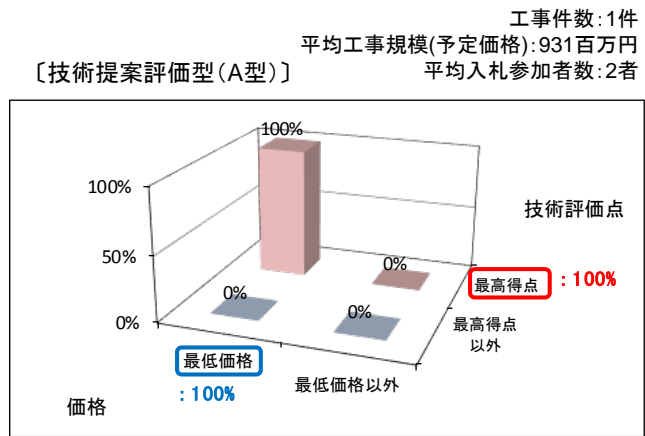
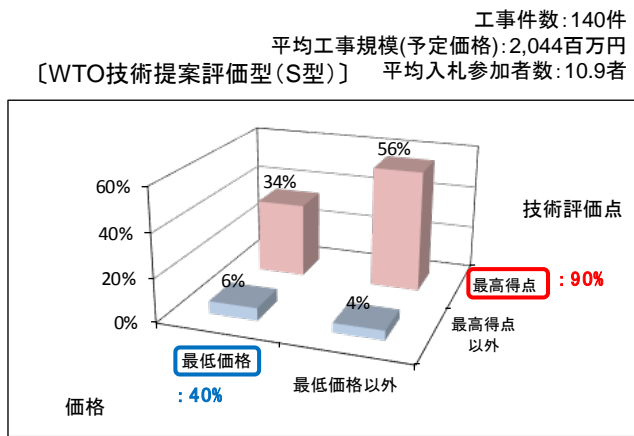
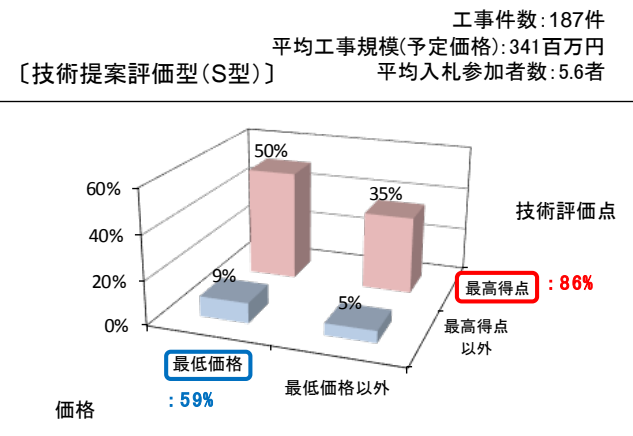
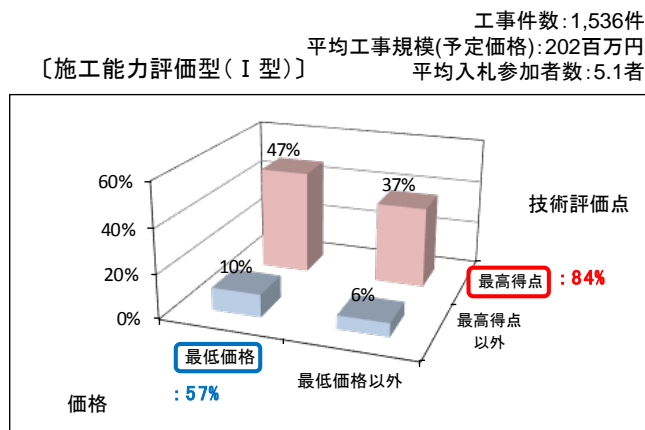
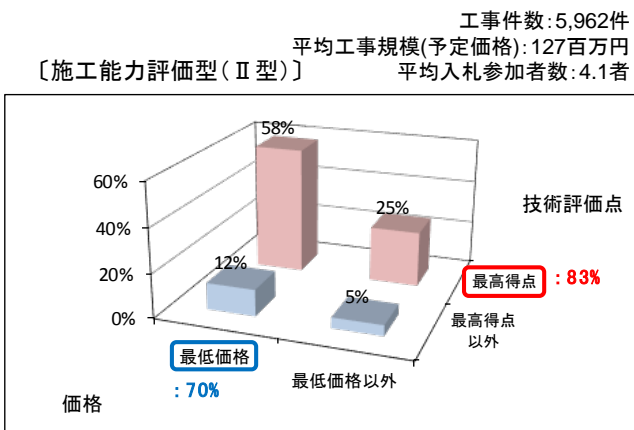
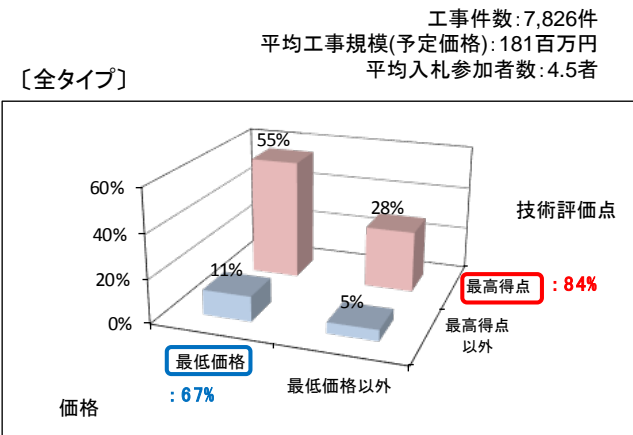
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 落札者の特徴

②総合評価のタイプ別

■ 施工能力評価型、技術提案評価型(S型)における「落札者の内訳」は、最高得点かつ最低価格の企業が落札する割合が高いが、WTO技術提案評価型(S型)では、最高得点かつ最低価格以外の企業が落札する割合が高い。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争

注2) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

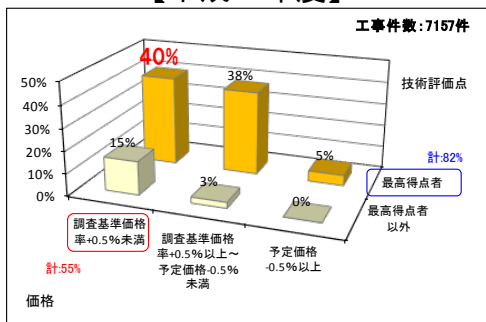
5. 落札者の特徴

(5) 落札者の技術評価点と落札価格の状況〔経年変化〕

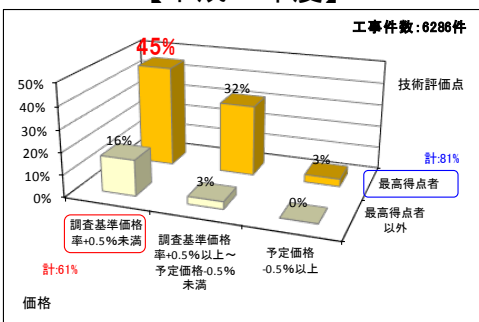
■ 技術評価点の最高得点者が調査基準価格付近(落札率が調査基準価格率+0.5%未満)の価格で落札する割合は、経年的に増加傾向にあり、平成28年度には施工能力評価型で51%、WTO技術提案評価型(S型)で81%に高まっている。

[施工能力評価型]

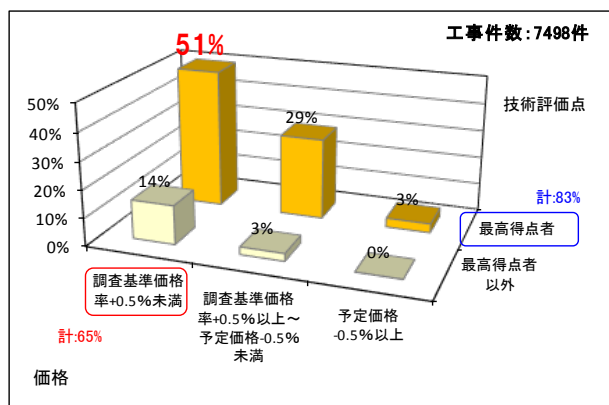
【平成26年度】



【平成27年度】

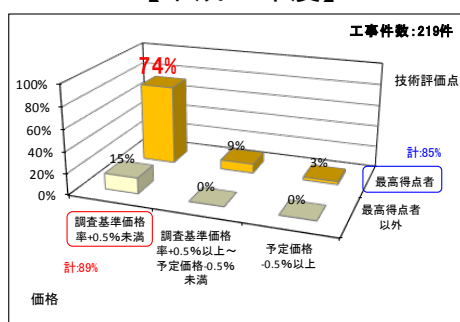


【平成28年度】

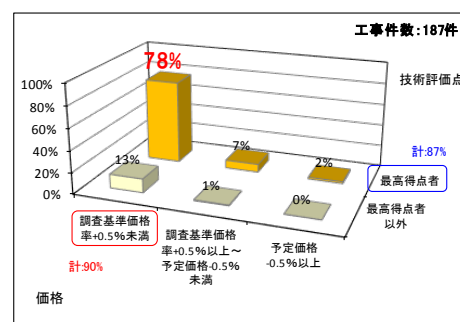


[WTO技術提案評価型(S型)]

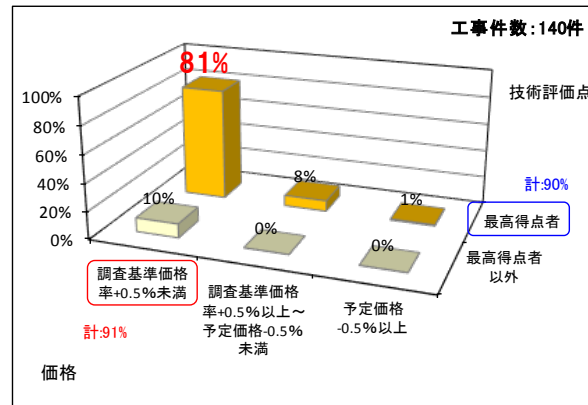
【平成26年度】



【平成27年度】



【平成28年度】



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争

注2) 施工能力評価型には二極化前の簡易型を含む

注3) 価格及び技術評価点の区分は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

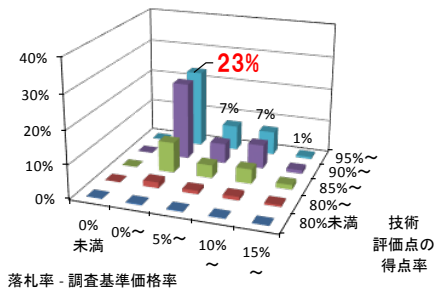
5. 落札者の特徴

(6) 落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔経年変化〕

■ 「技術評価点の得点率」が95%以上の落札者に着目すると、いずれの年度においても「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満が最も多く、高い技術評価点を得ていながら調査基準価格付近の価格で入札している者が落札者となっている。

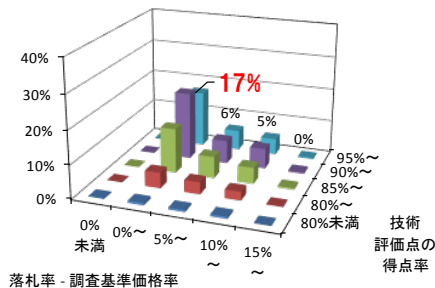
【平成24年度】

工事件数: 8373件



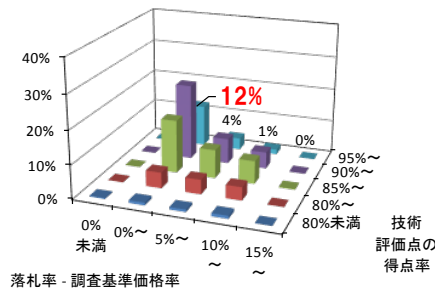
【平成25年度】

工事件数: 9986件



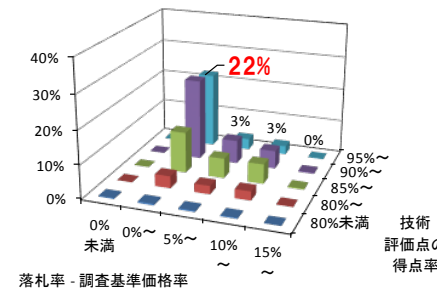
【平成26年度】

工事件数: 7500件



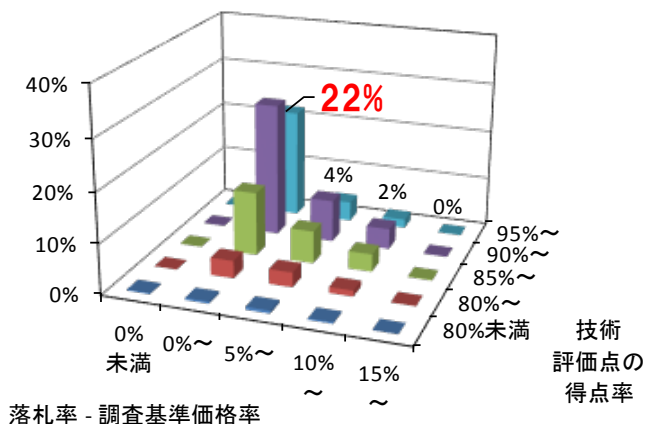
【平成27年度】

工事件数: 6610件



【平成28年度】

工事件数: 7759件



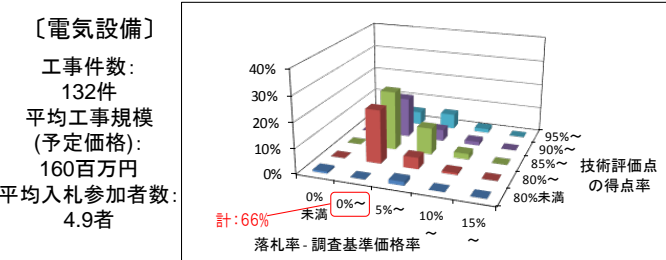
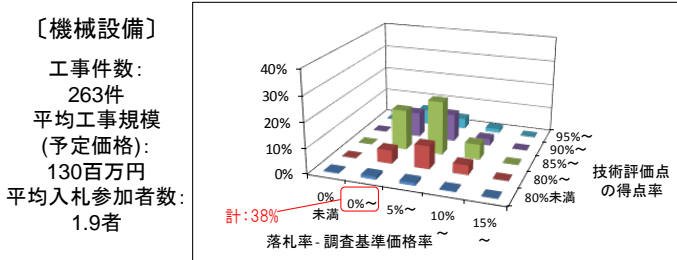
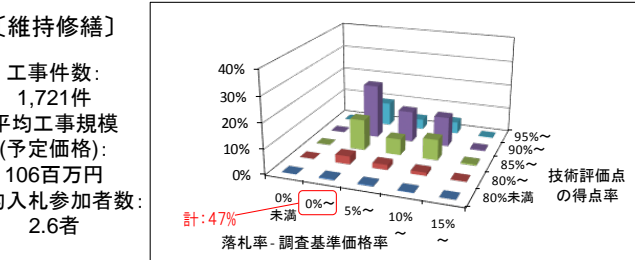
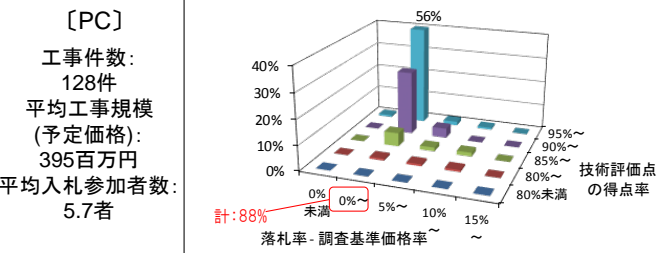
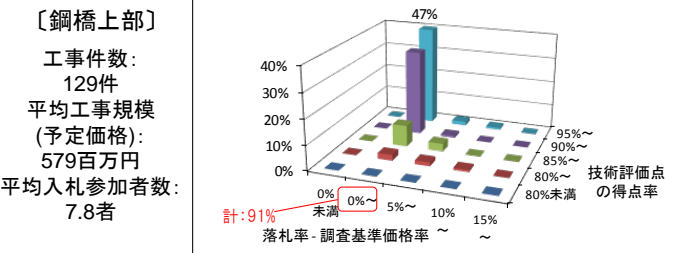
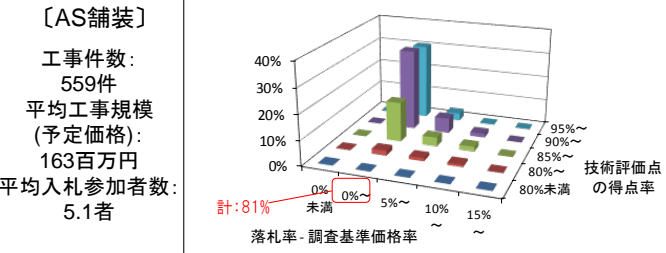
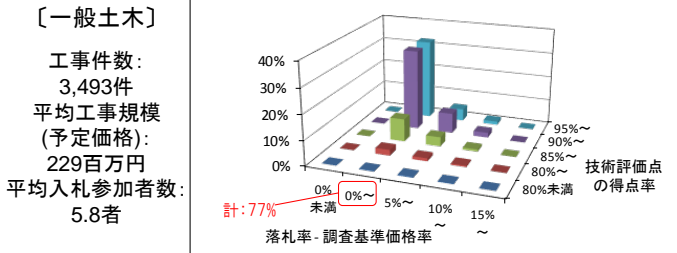
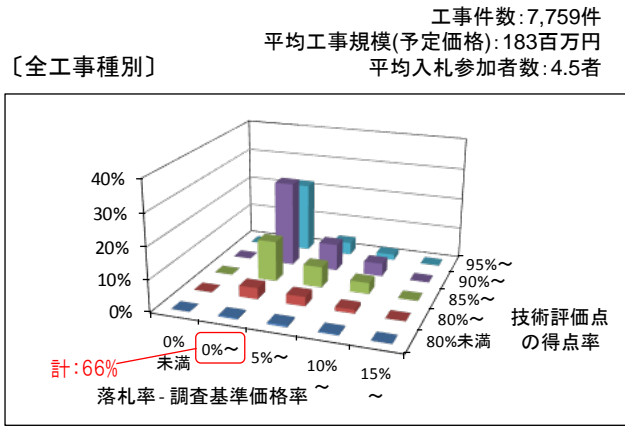
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・調査基準価格が設定されていない工事

5. 落札者の特徴

(7) 落札者の「落札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔平成28年度〕

① 工事種別別

■ 「技術評価点の得点率」が90%以上の落札者に着目すると、一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCにおいて「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満が他の工事種別に比べ多い。特に、鋼橋上部とPCではその傾向が顕著である。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

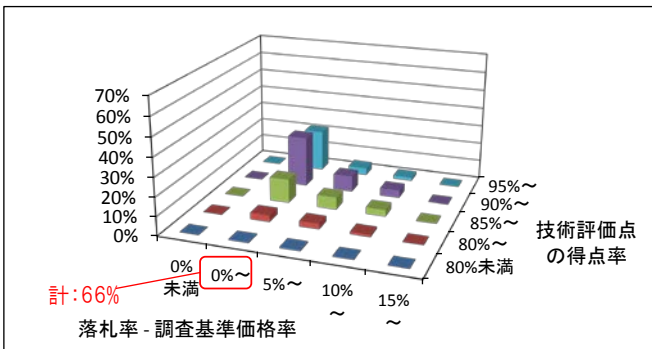
注2) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
 注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 落札者の特徴

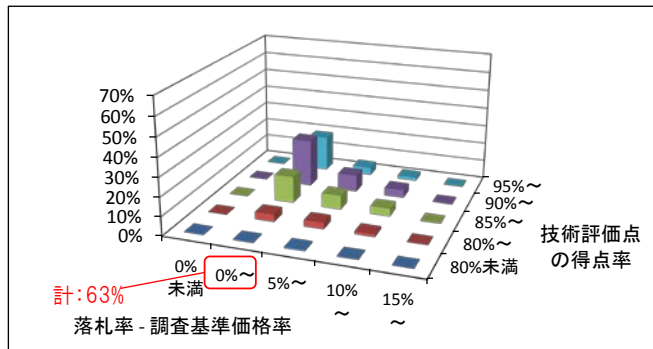
②総合評価のタイプ別

■ 「技術評価点の得点率」が95%以上の落札者に着目すると、いずれの契約タイプにおいても「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満が最も多い。特に、WTO技術提案評価型S型ではその傾向が顕著であり、「落札率-調査基準価格率」が5%以上の入札による落札者はほとんど見られない。

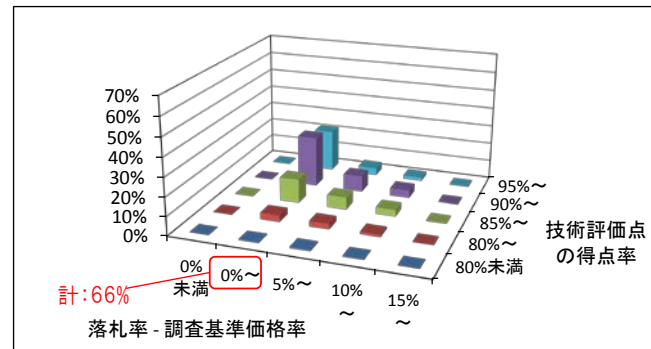
【全タイプ】
工事件数: 7,759件
平均工事規模(予定価格): 183百万円
平均入札参加者数: 4.5者



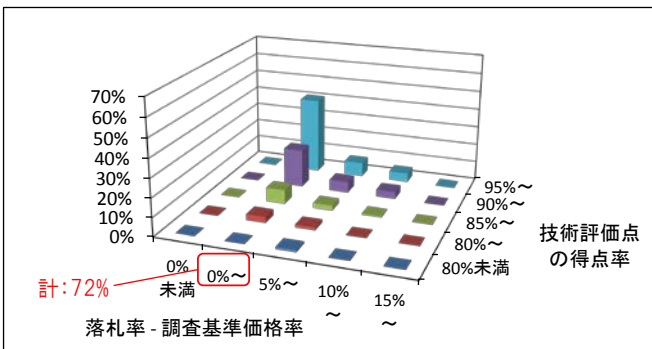
【施工能力評価型(Ⅱ型)】
工事件数: 5,896件
平均工事規模(予定価格): 128百万円
平均入札参加者数: 4.1者



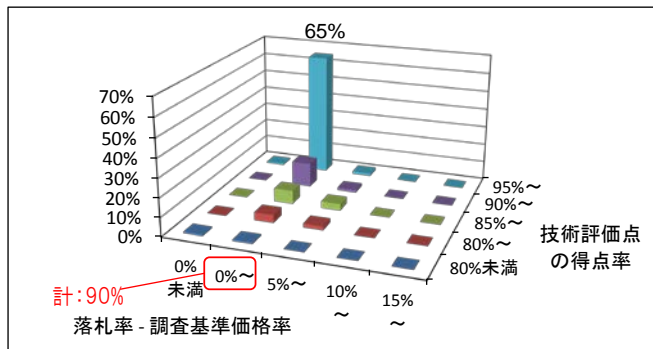
【施工能力評価型(Ⅰ型)】
工事件数: 1,536件
平均工事規模(予定価格): 202百万円
平均入札参加者数: 5.1者



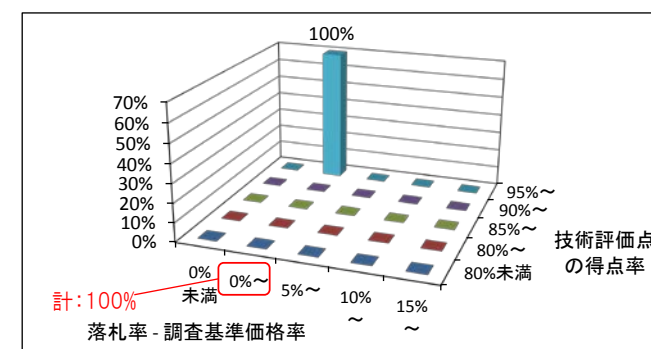
【技術提案評価型(S型)】
工事件数: 186件
平均工事規模(予定価格): 342百万円
平均入札参加者数: 5.7者



【WTO技術提案評価型(S型)】
工事件数: 140件
平均工事規模(予定価格): 2,044百万円
平均入札参加者数: 10.9者



【技術提案評価型(A型)】
工事件数: 1件
平均工事規模(予定価格): 931百万円
平均入札参加者数: 2者



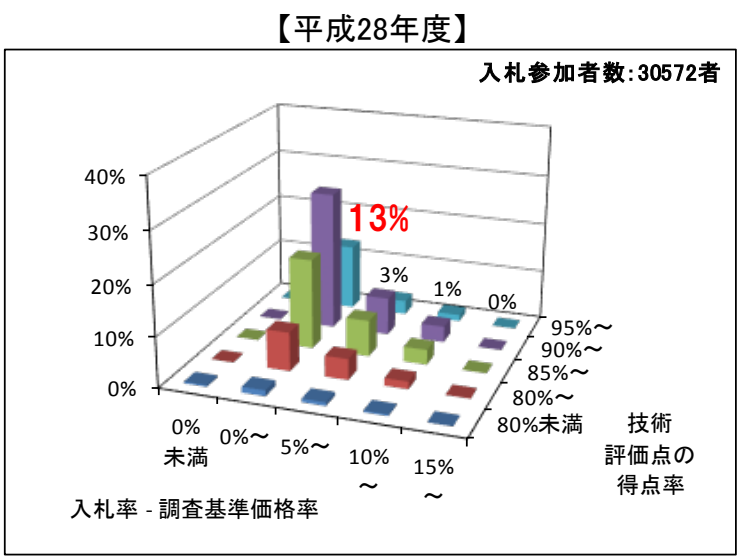
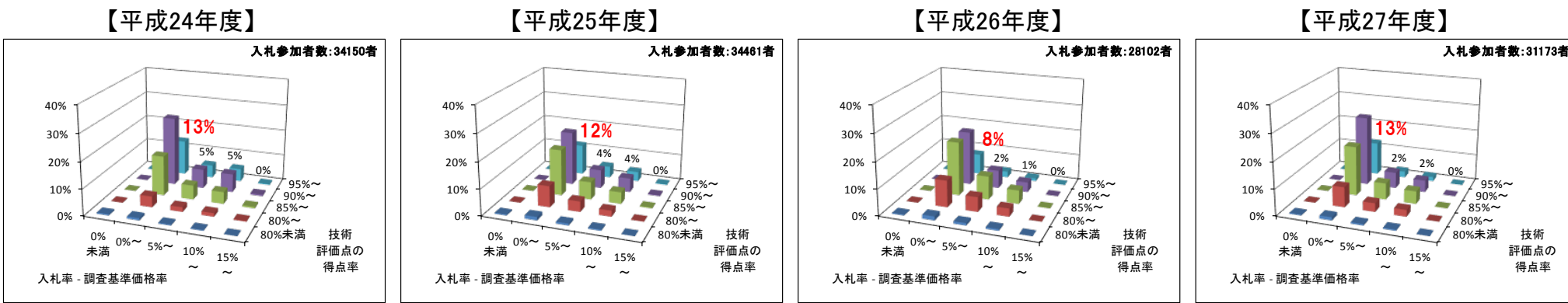
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
・港湾・空港関係工事
・価格競争
・調査基準価格の設定されていない工事を除く。

注2) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者は含む。
注3) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 落札者の特徴

(8) 入札参加者の「入札率-調査基準価格率」と「技術評価点の得点率」〔経年変化〕

■ 「技術評価点の得点率」が95%以上の入札参加者に着目すると、いずれの年度においても「落札率-調査基準価格率」が0%以上5%未満が最も多い。このように落札者以外も、高い技術評価点を得ていながら調査基準価格付近の価格で入札している競争環境となっている。

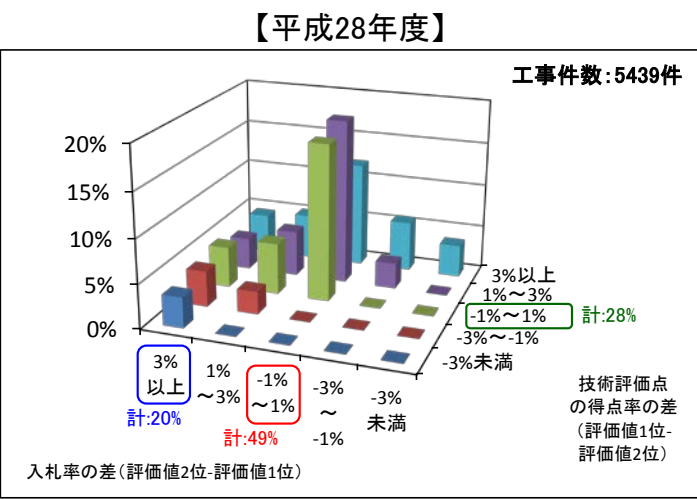
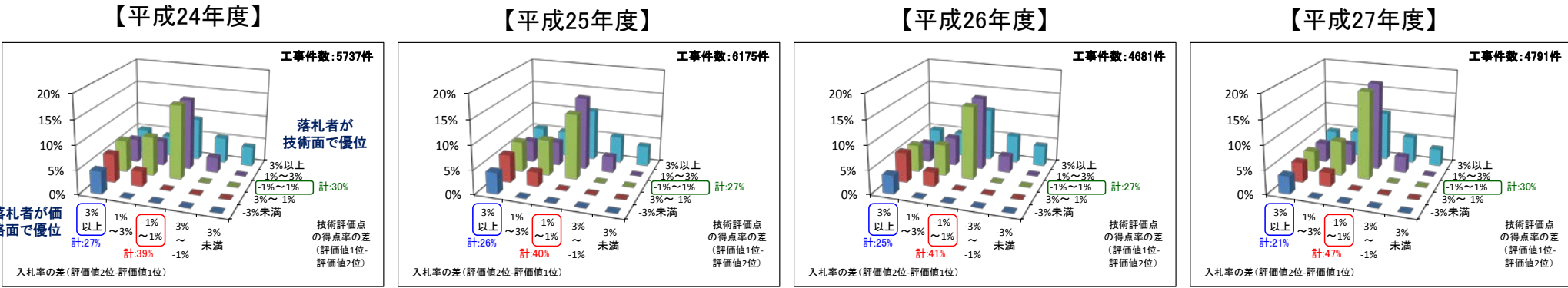


注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・調査基準価格が設定されていない工事
 注2) 入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等及び予定価格超過者を除く。

5. 落札者の特徴

(9) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差〔経年変化〕

- 「落札者と次点者の技術評価点の得点率の差」が±1%の割合は、過年度と同様に3割前後で推移している。
- 「落札者と次点者の入札率の差」は、入札率の差が大きい工事(3%以上)の割合が近年減少し、±1%に集中する傾向にある。



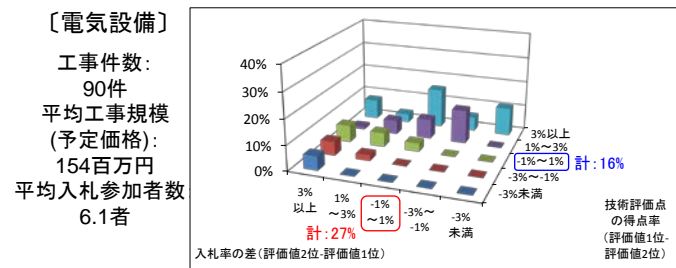
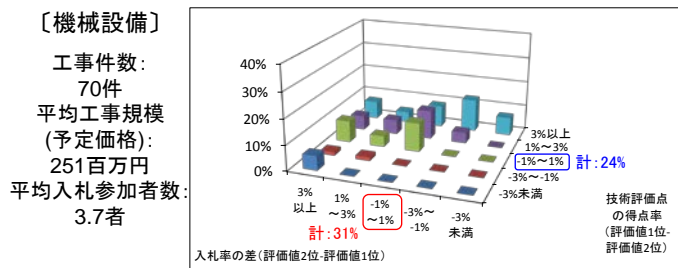
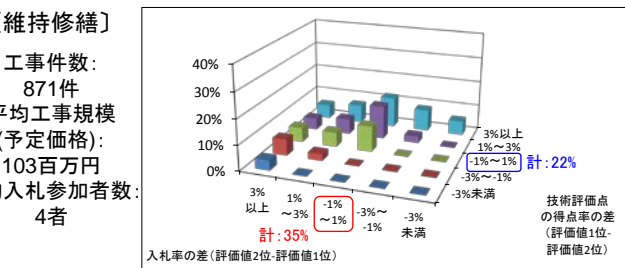
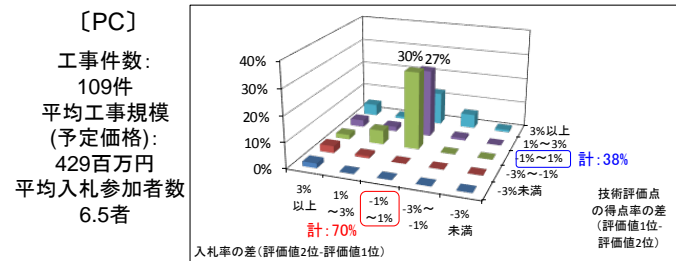
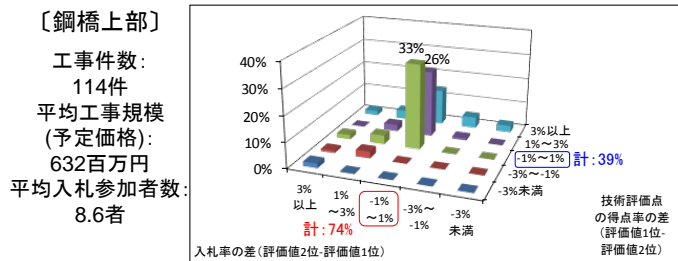
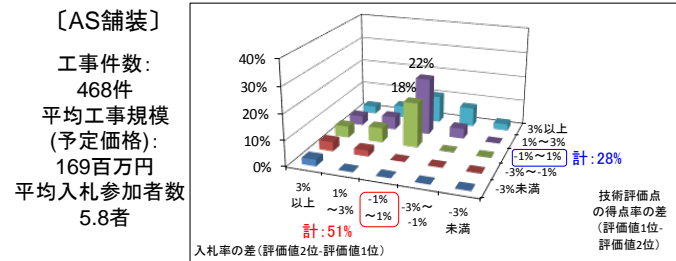
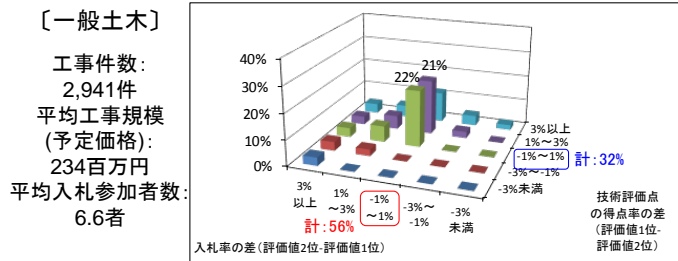
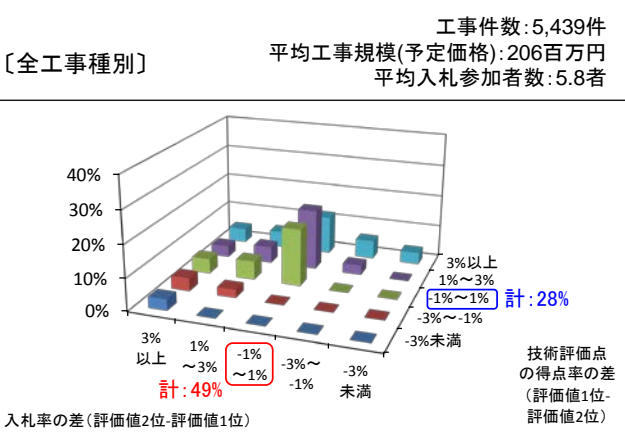
注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・予定価格内1者の工事
 注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

5. 落札者の特徴

(10) 落札者（評価値1位）と次点者（評価値2位）の「入札率」及び「技術評価点の得点率」の差〔平成28年度〕

① 工事種別別

■ 一般土木、AS舗装、鋼橋上部、PCは、「技術評価点の得点率の差」が-1%以上3%未満かつ「入札率の差」が±1%の割合が高く、他の工事種別と比べ技術と価格の両方で差が付きにくい傾向が見られる。



注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象
 ・港湾・空港関係工事
 ・価格競争
 ・予定価格内1者の案件

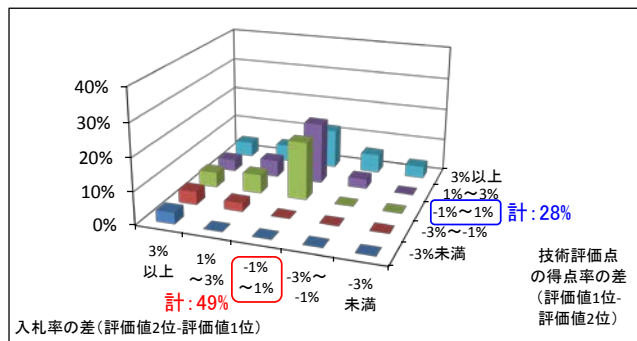
注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。
 注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者数を含む。
 注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

5. 落札者の特徴

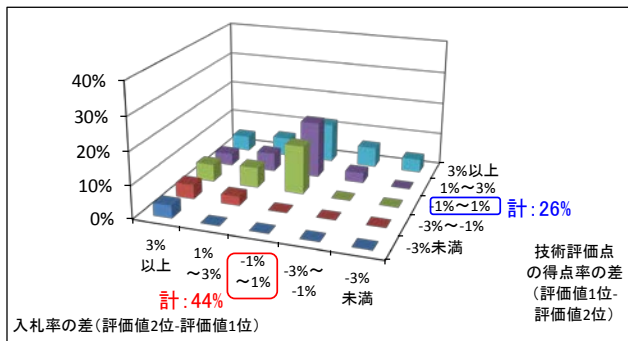
②総合評価のタイプ別

■ WTO技術提案評価型(S型)では、「技術評価点の得点率の差」が±1%の割合は5割弱、「入札率の差」が±1%の割合は7割以上であり、他の契約タイプと比べ技術と価格の両方で差が付きにくい傾向が顕著である。

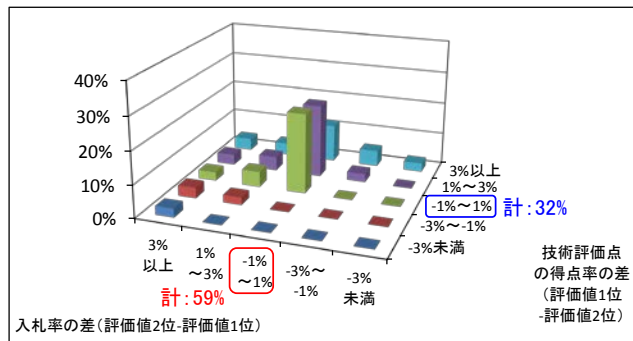
工事件数: 5,439件
平均工事規模(予定価格): 206百万円
平均入札参加者数: 5.8者
〔全タイプ〕



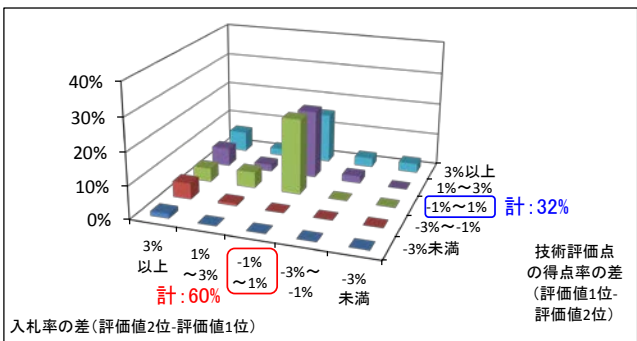
工事件数: 3,976件
平均工事規模(予定価格): 141百万円
平均入札参加者数: 5.4者
〔施工能力評価型(Ⅱ型)〕



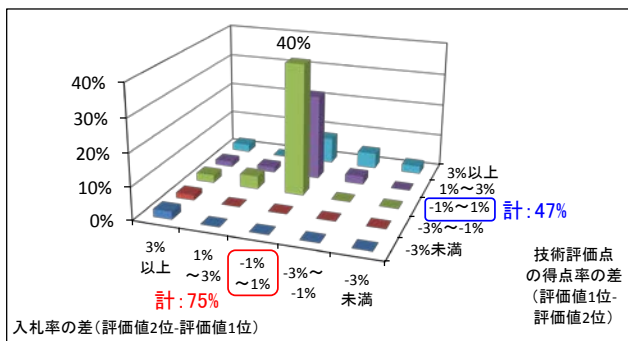
工事件数: 1,195件
平均工事規模(予定価格): 204百万円
平均入札参加者数: 6.2者
〔施工能力評価型(Ⅰ型)〕



工事件数: 142件
平均工事規模(予定価格): 374百万円
平均入札参加者数: 7者
〔技術提案評価型(S型)〕



工事件数: 126件
平均工事規模(予定価格): 2,075百万円
平均入札参加者数: 11.9者
〔WTO技術提案評価型(S型)〕



工事件数: -
平均工事規模(予定価格): -
平均入札参加者数: -
〔技術提案評価型(A型)〕

技術提案評価型A型の適用工事は1件あるが予定価格内1者であるため表示グラフ無し

注1) 8地方整備局の工事のうち、下記を除く工事を対象

- ・港湾・空港関係工事
- ・価格競争
- ・予定価格内1者の案件

注2) 落札者(評価値1位)と次点者(評価値2位)の差は、無効・辞退等及び予定価格超過者を除き判定。

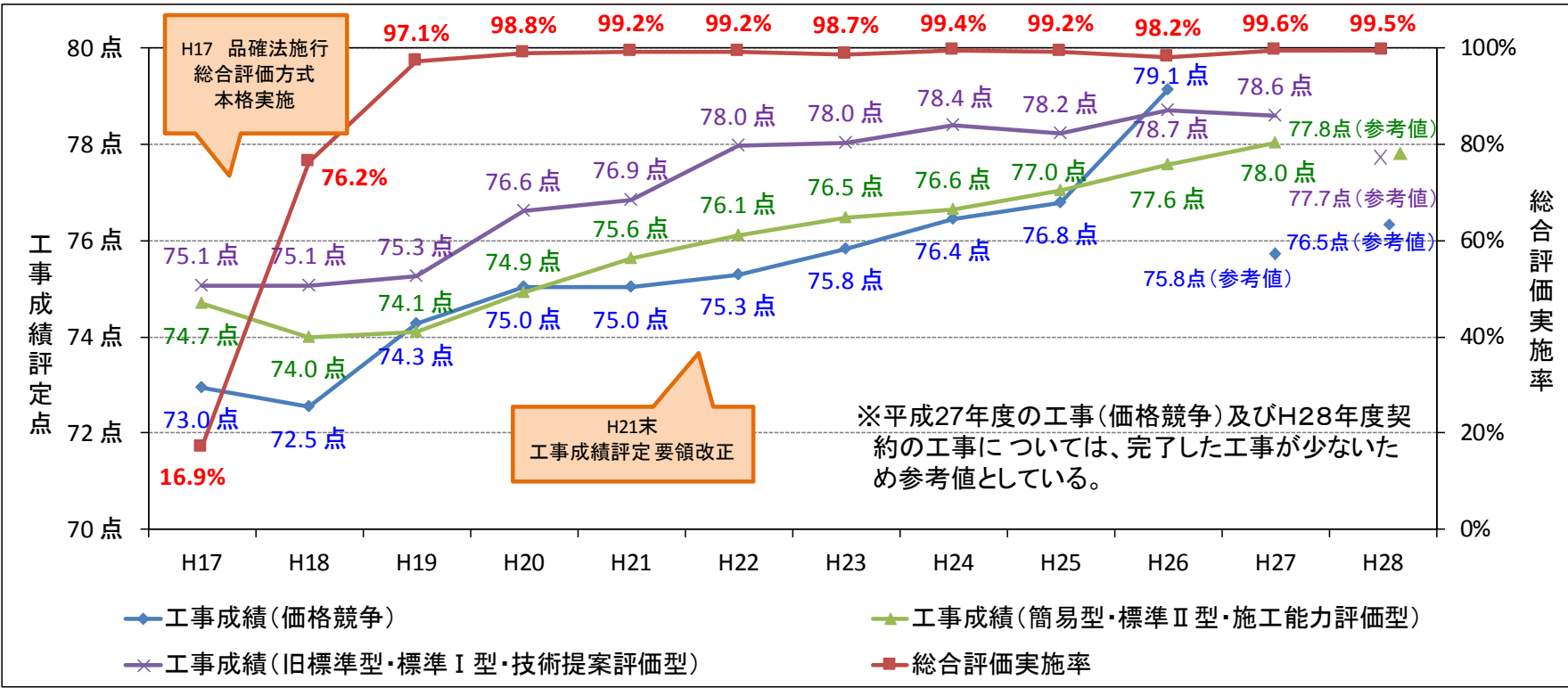
注3) 平均入札参加者数は、競争参加者数から無効・辞退等を除くが予定価格超過者数を含む。

注4) 平均工事規模は、予定価格(税込み)とする。

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

(1) 総合評価落札方式の実施率と工事成績評定点の変化

- 工事成績は年々上昇する傾向にあり、価格競争に比べると施工能力評価型及び技術提案評価型の方が高い傾向にある。
- 「工事成績」は、価格競争よりも施工能力評価型、施工能力評価型よりも技術提案評価型が高い。



※平成27年度の工事(価格競争)及びH28年度契約の工事については、完了した工事が少ないため参考値としている。

	H17件数	H18件数	H19件数	H20件数	H21件数	H22件数	H23件数	H24件数	H25件数	H26件数	H27件数	H28件数
価格競争	7,088	2,385	2,054	827	223	193	76	34	50	77	13	13
総合評価(簡易型・標準Ⅱ型・施工能力評価型)	680	4,923	8,269	8,645	8,949	7,643	7,932	7,963	9,125	6,830	5,797	3,003
総合評価(旧標準型・標準Ⅰ型・技術提案評価型)	378	686	921	725	691	211	255	219	428	303	199	54

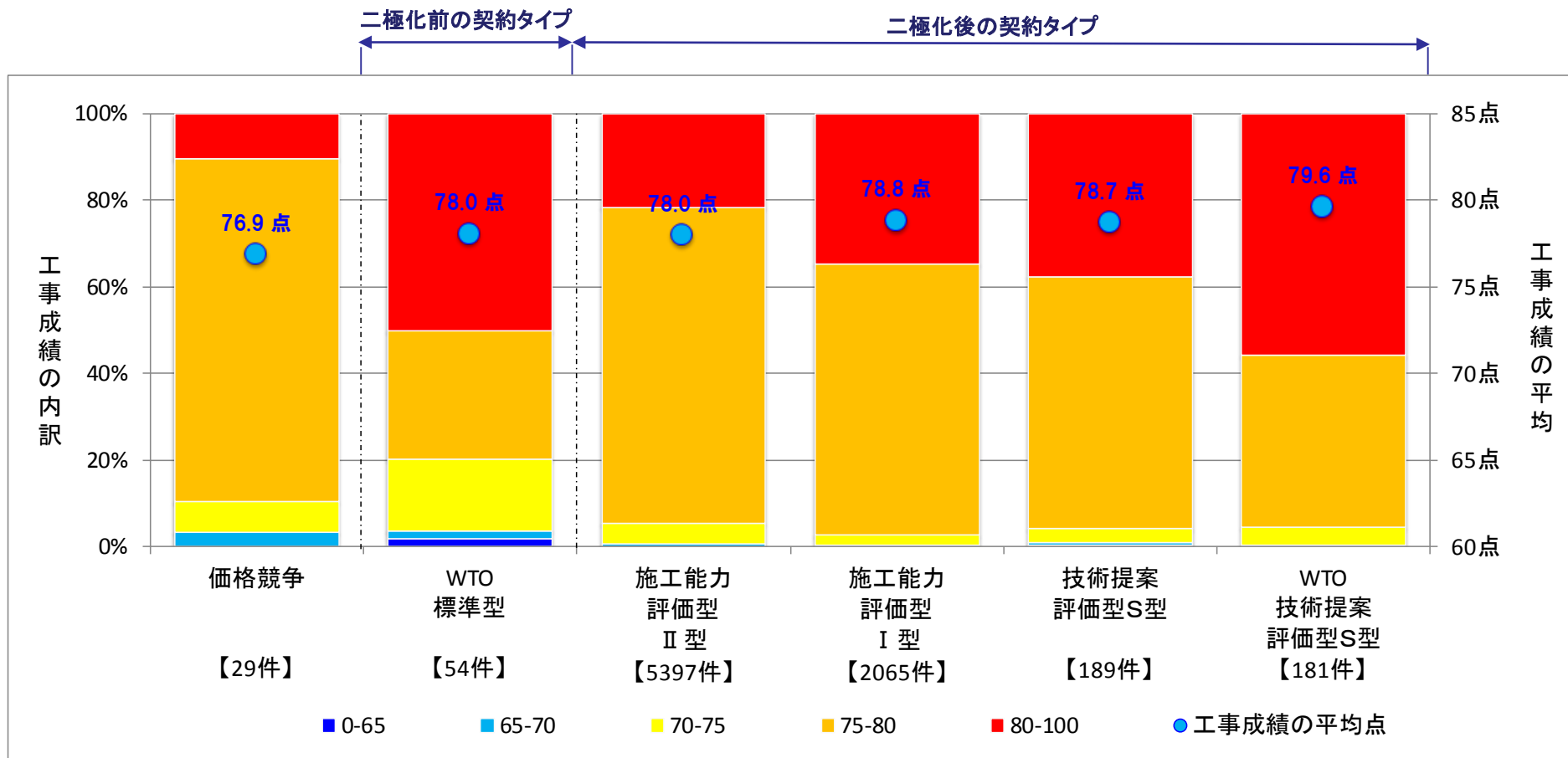
注1) 8地方整備局の工事を対象。(港湾・空港関係工事を除く)
 注2) 価格競争を含む
 注3) 注1)、注2)を満たす工事のうち、工事成績データ(平成28年度完成分まで)と契約データのマッチングができたものを対象
 注4) 各年度の工事件数は契約年度別で整理
 注5) 平成26年度完成工事の価格競争には土砂災害の緊急復旧工事が含まれているため、工事成績評定点が高くなっている。

※以下の工事は完成工事件数が少ないため参考値とする。
 ・平成27年度:価格競争
 ・平成28年度:価格競争、総合評価(簡易型・標準Ⅱ型・施工能力評価型)、総合評価(旧標準型・標準Ⅰ型・技術提案評価型)

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

(2) 契約タイプと工事成績評定点

■ 上位タイプにおける「工事成績」は、工事成績80点以上の割合が多く、平均も高い傾向が見受けられる。

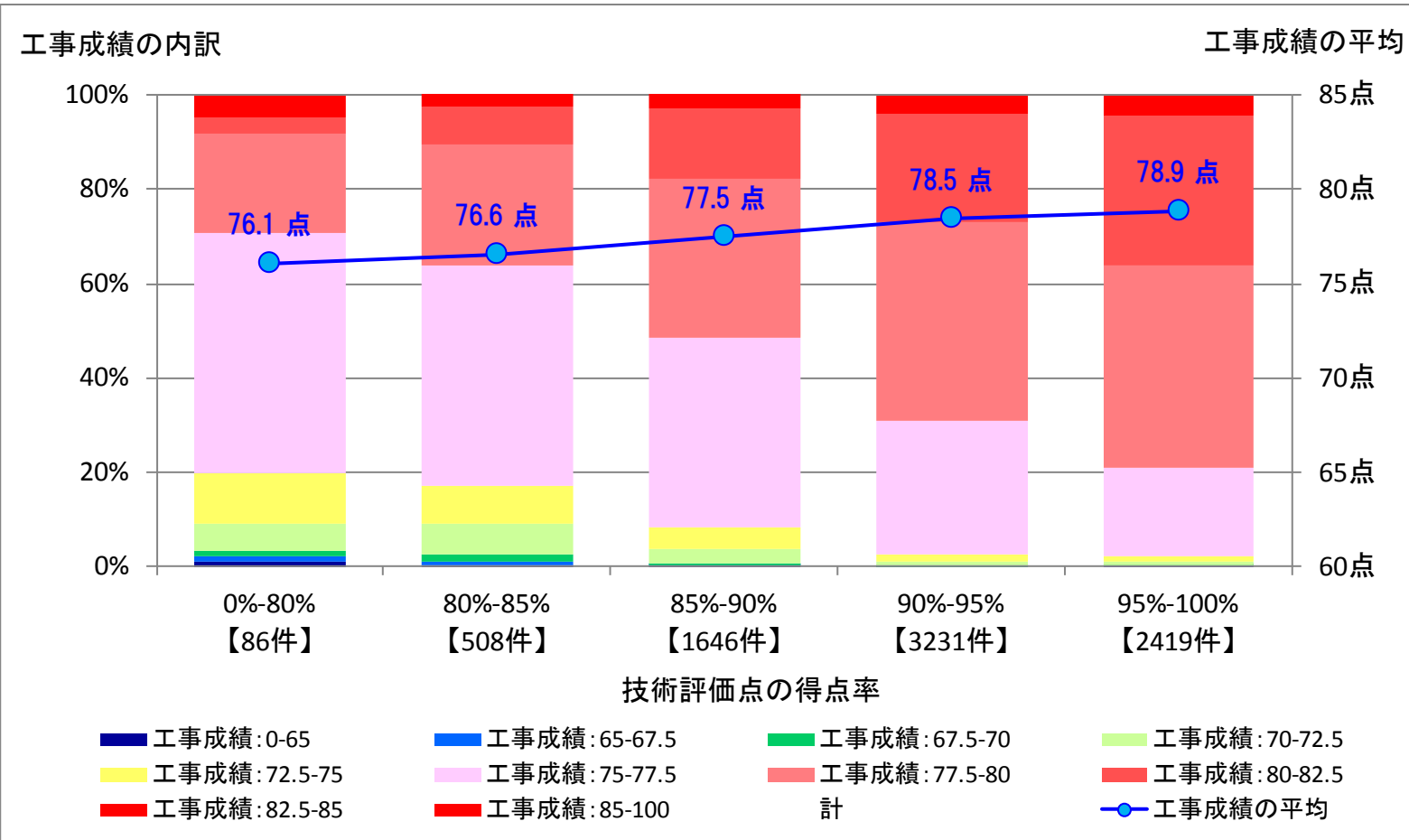


注1) 10地方整備局等の平成28年度完成工事を対象（港湾・空港関係工事を除く）
 注2) 価格競争を含む
 注3) 注1)、注2)を満たす工事のうち、工事成績データと契約データのマッチングができたものを対象
 注4) 件数が10件未満の総合評価タイプ(簡易型、標準型Ⅰ型、標準型Ⅱ型、高度技術提案型)は除く

6. 総合評価の導入と工事成績評定点

(3) 工事成績評定点と技術評価点得点率

■ 「工事成績」は、技術評価点の得点率が高い工事ほど80点以上の高評点を得る割合が多く、工事成績の平均が高い傾向が見られる。



注1) 10地方整備局等の平成28年度完成工事を対象 (港湾・空港関係工事を除く)。
 注2) 価格競争を除く
 注3) 注1)、注2)を満たす工事のうち、工事成績データと契約データのマッチングができたものを対象